長屋談義　先の戦争を考える

クマさん「ご隠居さん、いるかなあ。ちょっと話を聞きて〜んだがな。」
ご隠居「なんだい、クマさんらしくなく神妙じゃあないか。なにかあったんだね。また奥さんとケンカしたんじゃあないのかね。」

クマさん「いえ、そんなんじゃあね〜んで。８月は原爆記念日とか終戦記念日とかあるだろう。うちの親父も戦争へ行ったんだが、日本は本当に悪いことをしたんだろうかね〜。なんかあっしは８月になるとせいせいしね〜んだ。中国や韓国の連中は日本を悪者にしているんだろう。」
ご隠居「それは、いまの中高年の人にとっては、アジア・太平洋戦争を大きな負の遺産として背負わされているからなあ。直接的な体験を持っている８０代以上の人も少なくなっているしなあ。だけどそれをどう受け継いでいくかは重要なことだ。」

クマさん「戦争の話はテレビや映画なんかでいろいろ見たり聞いたりはしているんだが、あっしらはどう考えたらいいのかかいつまんで話しちゃあくれんかね。せいせいしね〜気分を晴らしてもらいて〜んだ。」
ご隠居「そんな一口で話すことはできないが、私なりに勉強したことをかいつまんで話してみようかね。とりあえず先に出された安倍首相の談話を、整理してみようかな。そのうえでクマさんのせいせいしないことを聞きながら私なりにまとめてみようかね。どうかな。」

クマさん「先の戦争への総括ってわけですかい。」
ご隠居「首相の『談話』を整理すれば①百年前西欧の植民地が拡大、危機感をもった日本は日露戦争勝利でアジア、アフリカ諸国を勇気づけた。②第一大戦後、経済ブロック化が進み、日本は孤立化した。③満州事変など国際秩序に挑戦し、力による解決を目指した。④さきの大戦では同朋３００万人余が犠牲となった。事変、**侵略**、戦争。いかなる武力の威嚇や行使を二度と用いてはならない。**植民地支配**から永遠に決別する⑤わが国は痛切な**反省とお詫び**の気持ちを表明し、東南アジア、台湾、韓国、中国などの苦難の歴史を胸にその発展に協力、⑥中国残留孤児の養育に感謝、米英、蘭、豪の元捕虜が相互の慰霊、寛容の心で日本は復興、⑦唯一の被爆国として核兵器の廃絶を目指す、⑧戦時下、多くの女性の尊厳、名誉が傷つけられた。⑨日本は自由、民主主

義、人権といった基本的価値を堅持、価値を共有する国々と手を携え＜積極的平和主義＞を高く掲げる。⑩戦後生まれが８０％、過去を語り継ぎ、いかなる紛争も平和的・外交的に解決する。といった内容が織り込まれたんだ。」

クマさん「なんだか模範解答だな。侵略もお詫びも入っているなあ。」
ご隠居「そうなんだ。私も何度も読んだが、原稿を書いた人はさすが秀才だなあ、とおもったね。侵略、植民地支配、反省、お詫び、とみんな入れたんだが韓国を植民地支配したとは書いていない。主語はわが国であり、先の大戦について痛切な反省とお詫びの継承は表明している。さらに欧米の植民地支配にはチクリと述べながら、いつまでも謝罪することを　しないと宣言している。」

クマさん「それじゃあ、韓国は無視されたというわけか。」
ご隠居「そういえばそうだ。だが韓国に何回詫びたってそれで解決にはならないし、私も安倍首相への評価とは別にして日本として先の戦争への総括的な見解としては穏当に収めたなと思ったね。知恵者がいたもんだ。」

クマさん「うん、国としての反省は分かったとしてそれじゃあナゼ戦争を始めたのか、当時はどんな状況だったんだと聞きて～もんだ。」
ご隠居「いきなり難問だな。簡単に言えば①満州族が中国へ侵入して清国を作っていたが、欧米の植民地進出や日清戦争などもあり孫文や蒋介石らの革命戦争で清国が崩壊し、日本は空白地となっていた満州へラストエンペラーの清国皇帝であった溥儀を担いで満州国と言う植民地を作ったんだ。このきっかけとなったのが満州事変だ。②さらに国家財政の半分以上が軍事費となり、これを抑制しようとした高橋是清大蔵大臣は暗殺された。（２・２６クーデタ事件）③独走を始めた軍部はヒトラーの進撃に煽られて日独伊三国同盟を締結し枢軸国側となり欧米と対峙した。④中華民国（蒋介石軍）との対峙があったんだが中国共産党が勢力回復のため盧溝橋事件で両軍を挑発して日中戦争がはじまった。日本軍の中国進出をアメリカも警戒し、中国を支援し、さらに東南アジアなどの石油や他の資源の日本への輸出を制限したため日本軍は東南アジアへ侵攻して英国やオランダなどの植民地を攻撃。⑤アメリカの対日封鎖で最後通牒を受けた日本は破れかぶれの対米戦争に突入、⑥駐米大使館のミスで宣戦布告が遅れ、真珠湾攻撃でアメリカの戦意を挫くはずが逆に戦意高揚させた。⑦これらの過程で天皇を政治

利用し、軍部は統帥権の濫用をはかり国家総動員で独走した。⑧精神主義を煽り、補給物資も少なく南方兵士の７割は餓死や病死、自死させられた。⑨人権軽視で、艦船、航空機、馬より兵士の命は軽んじられ特攻となった。」

クマさん「日本が植民地を作ったのは事実なんだな。」
ご隠居「日清戦争で台湾の割譲を受け、日露戦争の後、日韓併合で朝鮮を日本の領土化し、満州族が支配した清国崩壊後、満州族との協議で満州国を建国した。このため国際連盟で孤立化し脱退となっていった。」

クマさん「じゃあナゼ中国への戦争を拡大したんだ。」
ご隠居「当時の政府、大本営も中国（中華民国）との戦争は不拡大の方針だった。

しかし、当時の関東軍は天皇の統帥権の乱用を始めており、とくに牟田口中将、辻参謀などは挑発に乗って勝手に戦争拡大を始めてしまった。この二人はインパール作戦など無謀な作戦で、かつ補給も与えなかったため戦争より餓死や病気で死んだ者が５万人と大勢殺されているんだ。ところが２人とも出世昇進して、さらに極東裁判を逃れ戦後も国会議員になったり、戦犯になるのを逃げまわったりしていた。こうしたことを許し、かばい合うエリート官僚主義が開戦や戦争指導で無責任となり犠牲を大きくしていったんだ。」

クマさん「ひで～連中がいたもんだなあ～」
ご隠居「でも立派な人もいたことも事実だ。たとえば根本中将と言う人は終戦時もソ連の侵攻に備えて民間婦女子を守り復員させたし、戦後は台湾へ渡り中国共産党軍の侵入に対して戦闘指導して撃退させている。名古屋の岡田資司令官は部下の捕虜処刑の罪を一身にかぶり、Ｂ級戦犯に問われたが米軍の無差別爆撃の残虐性、原爆の非人道性を裁判闘争として告発している。米軍側の検事、判事からも同情と免罪への促しもあったが従容として一人処刑された。これは『明日への遺言』と言う映画にもなり、藤田まことが主役で感動的だった。」

クマさん「立派な軍人もいたんだなあ。それじゃあ、なぜアメリカと戦争を始めたんだ。」
ご隠居「南方の資源を封鎖され動きのとれなくなった日本はアメリカと外交交渉をやったが、ルーズベルトは対独戦に参加するため米国民の支持を

得るため日本を挑発した。そして開戦に踏み切らせるため『ハル・ノート』で中国、東南アジアから一切手を引け、日独伊三国同盟を廃棄せよ、と最後通牒で日本を追い詰めたんだ。二進も三進もいかない日本は対米戦争に踏み切ることになってしまったんだ。軍部の良識派は外部へ出され、大本営の参謀本部などは主戦派が多かったからだ。」

クマさん「アメリカとの戦争はアメリカにも責任があったんだな。それなのにナゼ日本が悪者にされるんだ。」

ご隠居「そうした研究はアメリカ側にもあるが、やはりハワイの真珠湾攻撃が米大使館の手落ちで宣戦布告が遅れたことで奇襲攻撃とされてしまったことが米国民に与えた影響は大きい。しかしアメリカ側は暗号解読で攻撃は知っていたため空母は演習のため他へ移動させていたんだ。」

クマさん「たしか山本五十六長官が、アメリカの海軍主力をやっつけて早めに講和をやればいい、てわけで攻撃に踏み切ったんだろ。」

ご隠居「ところが結果は米空母は無事で、奇襲で憤激した米国人の開戦への戦意高揚をあおってしまったんだな。以降の戦闘では後手後手になり、ミッドウェー、レイテ沖海戦などの敗退、グアム・サイパン、ペルリュー島や硫黄島でのゲリラ的徹底抗戦、自殺強要の特攻作戦など多くの悲劇を生んできたのも、軍部上層部の精神主義、冷静な現地情報分析の欠如などによって無駄に命を失わされてしまったわけだ。」

クマさん「その精神主義とか情報分析ってところをもう少し話しちゃあくれんかな。」

ご隠居「その実例は一杯あるが、例えば満州の関東軍の辻参謀らはソ連との国境紛争（ノモンハン事変）で相手の戦力を過小評価“ロシア兵は判断能力が低く突撃すればすぐに逃げ出す”と指示し、現地調査もやらず戦車群を主力とするソ連側に無防備で兵力を投入するなどで８割が撃滅されたにもかかわらず何ら反省もなく大本営の作戦本部へ昇進しているんだ。また山本長官ら欧米への留学組の意見が制空権の確保のため空母や戦闘機の拡充の主張をしたが却下し、戦艦大和など巨艦主義をやめずアメリカに制空権を奪われた後はなすすべもなく、特攻やゲリラ的消耗戦を続けたことだな。」

クマさん「だけどゼロ戦が活躍したんだろう。」

ご隠居「たしかにゼロ戦は速度や機動性に優れていたから、当初は戦えば負け

ることはなかったが、米軍側に防御性に弱いなどの弱点を握られ複数編隊機で迎撃されなすすべが無くなってしまったんだな。このためしまいには爆弾を抱えた特攻機とされてしまったんだが、これも無駄死も多かった。だからアメリカ側は『バカボン』（馬鹿爆弾ＢＯＭＢ）と言っていたそうだ。」

クマさん「あっしも親戚のおじさんが特攻で死んでいるんだ。ひで一話だと思っていたね。戦艦大和だって自滅しに行ったようなもんだろう。」

ご隠居「特攻の青年たちの国を想い純真さを持って突撃した若者たちの心情には感動するが、前から言いたかったんだが、日露戦争時に騎兵を組織して強大なコサック騎兵隊を翻弄させた秋山好古司令官に言わせたら“武を汚すものだ。”と言っただろうなと思うね。大本営は人命よりも戦艦温存主義で結果的に役割を果たすことができず、その悲劇的役割を果たすことになってしまった。これも当時の軍部エリートの先例主義、硬直した独善主義が招いたことが開戦判断や作戦指導、補給体制の後回しなどに表れていたんだな。」

クマさん「そりゃあ、どんなことで」

ご隠居「たとえば日露戦争で陸戦や海戦での勝利の栄光が大きく、マイナス点を分析した将校は左遷させられている。不適切な指揮をした将軍を顕彰しないわけにいかないからな、というわけだし、“一発１００中の砲は、１００発１中の１００砲に勝る”とか、艦隊決戦主義を変えられず、人命軽視の人海作戦で消耗戦をつづけていったんだ。ところが明治の連合艦隊は最新式の無線の活用で情報を重視、射撃も統一した射撃法、弾丸や火薬の改良など極めて合理的な判断を重視していたんだ。戦争中も講和の話を進めたり、反ロシア勢力を支援していたし、戦後のロシア革命の遠因を作っていた。」

クマさん「なんだか今の政治家やエリート役人に聞かせてやりたい話みたいだな。」

ご隠居「エリート官僚主義や政治家の無責任主義は今もあると思うよ。しかし戦後の民主主義の進捗、民主憲法、国民の平和希求意識などの基盤ができつつあり、不祥事や無駄な政策も多くあったが、野党の追及やマスコミの報道などでかなり制約を受けていると思うな。でもいつも万全ではない。マスコミも政権によってかなり制約を受けているし、政治家の無責任性も個別の不祥事くらいは表に出るが、密約や大きな政

策的失敗（たとえば核エネルギー政策や有明湾干拓事業など）は数えればキリがない。国民が責任者であり、受益者であり、被害者ともなる立場で監視の目を緩めないことが大事なんだよ。」

クマさん「戦前だって議員もいたんだろうし、選挙だってあったし、新聞もあったんだろうが。」

ご隠居「だけど政党派閥の争いが激しく方針を決められなかったり、昭和初期は気候寒冷化の凶作で女児を売ったり経済不況で政情が不安であり、これに乗じて軍部の過激派が主導権を握ったり、マスコミが戦意高揚を煽ったりしたんだ。選挙だって高所得の特権階級しか認められていなかったし。」

クマさん「それじゃあ、やはり政治は無力で軍部だけが力を持って独走したというわけか。」

ご隠居「もちろん当時の内閣の中にも軍部の増強を抑えようとした高橋是清大蔵大臣は２．２６事件での若手将校の反乱で暗殺され、総理大臣を務めた広田弘毅は軍部の拡大主義を抑制するために尽力したが対中開戦の責任を問われ、唯一文官でA級戦犯として訴追され一切の抗弁を拒否して従容として処刑された。軍部内も陸軍と海軍の対立も深刻で陸軍内も内部派閥争いが強烈で、狂信派が反対する上層幹部を殺して主導権を確保して行ったんだ。その過程で統帥権を盾に政治介入し、天皇の権威をもっとも悪用したのが軍部主戦派だったといわざるを得ない。」

クマさん「A級戦犯というのは戦争責任者なんだからその責任を追及されるのは当然なんだろう。」

ご隠居「その通りだ。戦犯は、ポツダム宣言に基づく極東国際軍事裁判で有罪判決を受けたものを言うが、この裁判自体の法的存立要件の欠如を指摘する意見もある。外務大臣として開戦時と終戦時に担当した東郷茂徳の孫である東郷和彦氏は基本的には戦争責任の追及は日本人の手で行わなければならないが、結果をサンフランシスコ条約で受け入れている以上、法制度的には受け入れが肝要としている。先ほどの広田弘毅の場合は、キーナン主席検事でさえも“くだらない判決だ”としている。中国戦の責任と云う事では関東軍で攻撃命令を出した牟田口司令官の方が問題で、さらにインパール作戦では５万人の将兵を病死や餓死させ、下級将校さえも“殺したい”と呪ったという。張本人は、

軍事裁判中に盧溝橋事件が中国共産党の謀略であるとの情報で極東裁判では不起訴となっている。彼は仲間に“オレは腹を切るべきか”と尋ねて“切ったほうがいいでしょう”と突き放されても死なず、戦後は自己弁護に明け暮れていたんだ。ほかにも戦犯の追及もあったが、国民を戦争に駆り立てた者が刑を免れ国の要職についたりして今だ戦争責任があいまいになってきたんだ。」

クマさん「へー、そんな奴のせいで何十万人の日本人が餓死や病死で死んでいったなんて信じられねぇや。だけど開戦に踏み切った東條はどうなんで。」

ご隠居「彼は陸軍の超エリートで開戦のおりには首相、陸軍大臣、参謀長も兼ねて生真面目な官僚でもあったが、戦況悪化とともに軍部の信頼も失って退陣しているが、かの悪名高い戦陣訓では『死して俘虜の辱めを受けず』として捕虜になることを否定する教育を行ったんだ。このため戦闘で敗北しても降伏することができず、餓死、自決、壕に立てこもり火炎放射器で焼死させられた戦死者が過半数だといわれている。サイパンや沖縄での民間人の戦禍、ペリリュー島、硫黄島や沖縄戦での絶望的な抵抗戦はこうした思想教育の罪科でもある。この東條自身は終戦時、お粗末にもピストル自殺に失敗して米軍の捕虜となり、戦犯として絞首刑となっているんだから皮肉なものだね。」

クマさん「だけど非人道的なことは米軍だってやっていたんだろう。」

ご隠居「そうだ、やはりアメリカだって、２度にわたる原爆投下、そして日本の主要都市に対する無差別絨毯爆撃を行い、何十万人を無残な状態で焼殺していることは事実で、これらを極東裁判で弁護人が明確に糾弾して記録に残したことも事実だ。こうした事実を明確にした記録に残したことは極東裁判も意味があったわけだ。」

クマさん「戦争に勝っていたアメリカがなぜそんなことをやったんだろうね。」

ご隠居「ふつう言われていることは、早く戦争を終結させることによって米兵百万人こえる死傷者を防ぐこと、ソ連の参戦はヤルタ会談でも確認しておりソ連参戦前に終戦に持ち込みたかったからだ。しかし８月初めには日本側がソ連を通じて終戦の斡旋を依頼していることを知っていたからあえて原爆投下は米軍内では不必要だったという考えもあった。しかし本土無差別爆撃は日本の家屋が木と紙でできているから燃えやすいことを狙って女性、子どもと老人しかいない本土都市を焼き尽く

し戦意を消滅させようとしたんだから確信犯的非人道的であったことは事実だ。」

クマさん「それにしてもひで一話じゃあね〜か。」
ご隠居「原爆投下に疑問を持った人にトルーマン大統領は、“日本人はけだものだ。けだものと戦うためにはそうした武器も必要だ。といっていたし、その前に急死したルーズベルト大統領も人種差別意識が強かったから原爆開発に対する罪悪感はなかったといわれている。基本的には東洋人が強国になってアジアを支配しようとすることは許しがたかったのだ。」

クマさん「う〜ん、出る釘は打たれるってやつかあ。ところで日本は八紘一宇とか五族協和って標語を使ったのはどういうことですかい。」
ご隠居「あれは世界の民は一つの屋根に暮らす、といったようなものだが、次第に軍部もこれを大東亜共栄圏づくりへの思想的標語として利用していったんだ。実際は石油やゴムなど南方の資源確保を目指していたんだが、アメリカの植民地であったフィリピン、英仏やオランダの植民地であったマレー半島、インドネシア、ミャンマー、インドまで侵攻したんだ。そして大東亜会議も開催している。しかし民族自決、対等な地位、西欧のアジア支配を打破と言った理念は現地の占領軍の横暴によって幻滅を与えてしまい理念と現実が大きくかい離してしまったんだな。」

クマさん「でもそうした国が、戦後、みんな独立できたんだろう。」
ご隠居「そうなんだ。日本兵が自分たちを支配する恐ろしい白人たちをやっつける姿を見て鼓舞されたと独立の指導者たちは言っている。その前に日本自体が国際連盟で『人種差別撤廃条項の制定』を主張したんだが、表決の結果、多数を得たがウィルソン米大統領は満場一致ではないとして不採択としてしまった。これは米本国で採択否決の決議がされたためだ。しかし日本が世界ではじめて国際的な場で人種差別撤廃を提起したことは銘記すべきだと思う。だから欧米の植民地を攻撃することは日本の利益のためだが現地の人たちを勇気づけたことは事実だ。」

クマさん「絶対的な欧米白人支配に対して戦争を挑み、戦った日本人はすげーもんだ。ロシアを破り、欧米植民地の軍隊をやっつけたんだからなあ。」

ご隠居「だが補給も長期戦略もなく、インドやビルマ（現ミャンマー）まで戦線を伸ばし結果的には多くの兵が餓死させられたんだからあまり威張れたものじゃあないし、国としての責任を明確にする必要がある。『戦争論』と言う本を書いたクラウゼウィッツは、『戦争は国益のぶつかり合いの表現だ。』と言っている。」

クマさん「でも東南アジアの国は親日派が多いんだろう。」
ご隠居「そうだな。インドネシアでオランダが無理やり田をサトウキビやコーヒーを作らせ食糧難で１００万人以上の農民が餓死し、イギリスはインドでの残虐行為やオーストラリアでは原住民アボリジーニ３０万人のうち２５万人を殺し、インドシナではフランスが住民を虐待していたんだ。植民地諸国が独立戦争を戦って独立できたのも日本のおかげという国も多い。戦後も日本が焼け野原から驚異的な復活を果たし後進の国を援助してきたこともあるしな。」

クマさん「それにしても中国や韓国はいまだに戦前のことを追いかけているが困った話だなあ。」
ご隠居「それは何回も言っているが、中国共産党は日本軍と蒋介石軍を戦わせて漁夫の利で政権を得たことを自慢していたが、３世代目の江沢民以降は共産党独裁政権の正当性を強調するため抗日を煽っている。韓国は植民地であったとしても反植民地闘争をやったわけでなく、日本軍に志願して日本兵として戦ったものも多い。アメリカは講和条約締結に韓国代表は参加させていない。中国やロシアの圧迫もあり日韓併合で発展したが、依存心が強く、戦後も日本が創り引き継いだインフラなどを利用したが政権は今日まで不安定で自信を持ち切れていない。だから日本を悪者にしてうっぷん晴らしを続けたいんだ。」

クマさん「９月２日には習近平が抗日戦勝利記念パレードをやり、朴大統領も出席するんだろう。」
ご隠居「さっき云った通り日本が戦争をやったのは中華民国で共産党政権ではない。だからさすが習近平は『中国人民抗日戦争勝利記念』と言い、アメリカを巻き込み反ファッショ反日統一戦線を作ろうとしたがさすがオバマは断った。中国共産党は政権を取ってすぐに北朝鮮を支援するため韓国へ１００万の大軍を投入し、そのため朝鮮人は親子や兄弟が敵味方に分かれて殺し合ったんだ。韓国は中国に対して、『反省と謝罪』を要求すべきなんだ。そのことには少しも触れず朴大統領はアメ

リカの警告も無視して軍事パレードに参加したんだから何をいわんやとあきれるな。」

クマさん「もはや韓国は中国の属国に戻ったも同じだなあ。アメリカも怒って韓国を見捨てるだろうな。」

ご隠居「韓国からの『謝罪とお詫び』の要求に対して、談話では直接は謝罪もお詫びも触れず要求を実際は無視している。さすがプライドの高いといわれる韓国人も“無視された”とは書けず、反省が足りないとこぼしている様だ。」

クマさん「台湾だっておなじように植民地だったんだろう。」

ご隠居「台湾は日清戦争で日本へ割譲されたが、中国側は野蛮人の住む島くらいにしか見ていなかった。明治政府は学校や警察、保健所などを作り教育、治安、保健に力を入れ、ダムを作り灌漑をやるなど５０年間に近代化への発展の基礎作りをやって来た。だから日本の敗戦後、台湾人は蒋介石軍がやって来たとき、“犬が去って、豚がやって来た”と言ったそうだ。つまりよく吠えるがよく働く日本人、なんでも取り上げて食ってしまう蒋介石軍と言うわけだ。彼らは水道を知らず、蛇口だけ持って行って自分たちの宿舎につけたが水が出ないと怒った、という話があるほど知識も規律も弱い敗残兵だったというわけだ。」

クマさん「さっき天皇を政治利用したと言ったけど、天皇も戦争責任を背負っていたんだろう。」

ご隠居「開戦の折もその前も昭和天皇は、自らは内閣の決めた方針には賛否は言わず容認することに徹していた。側近の記録でも天皇機関説を正しいものと考えていた。そして天皇機関説を批判した軍部が一番天皇を便利な機関として利用したんだな。下士官までが自分の命令は天皇陛下の命令である、と押し付けた。天皇も私的な場では信頼する重臣等には戦争の不拡大を希望していたようだが、結果的には一億玉砕のための思想的、権威的役割を果たさせられた。」

クマさん「だけど終戦の放送で、天皇の意志で終戦となったんだろう。」

ご隠居「そうなんだが、８月の初めから終戦への政府の見解をまとめることができず、その間に広島、長崎への原爆の投下、ソ連の参戦を招いてしまったんだ。私も『日本の一番長い日』の映画を、新旧作とも見たが天皇の意向をくんだ老齢の鈴木貫太郎首相や各大臣役の熱演もあり、

なかなかの映画だったが、このなかでも描かれている様に閣議での意見がまとまらず２回にわたる天皇の“御聖断”をあおいでいるんだ。一番焦点となったのが“国体の護持”だった。つまりポツダム宣言を受託して降伏する条件として天皇制の維持だったんだ。ところが連合国側の回答には、連合国軍の支配下で、日本人が自由に選択する方法で国の維持を図る旨であったため国体の維持について不明確だとして議論がまとまらず、天皇の意見を聞いて決めることとなったわけだ。」

クマさん「へー、天皇が初めて政治的決断を下したってわけか。」

ご隠居「歴史に＜もし＞はないが、このまま戦争を続けていたら武器弾薬は底をついていたし、国民は竹やりで突撃させられ、手りゅう弾を持って突撃戦を余儀なくされた。当時、関東にいた私の恩師が所属した軍隊は、米軍の上陸に備えて東京からの難民が邪魔だったら戦車でひき殺せとの命令を受けていたと言っていた。そしてソ連軍は北海道を占拠していたことは間違いない。だから天皇はポツダム宣言を受諾するよう涙と共に訴えたんだ。」

クマさん「うーん、泣かせる話だなあ。」

ご隠居「だが陸軍省の若手参謀が近衛司令官を殺してクーデターで天皇の敗戦放送を阻止しようとしたんだ。天皇を強要して戦争継続をさせようと考えたんだな。」

クマさん「なんだ、天皇陛下のために死のうと煽っていた軍人が天皇に逆らおうとしたのか。トンでもね～話だ。」

ご隠居「つまるところ軍部の意志は、軍隊が天皇のためでも国民のためでもなく、自分たち組織の存在利益、権力の維持を現わしたんだと思うね。だから天皇は自分はどうなってもよいから残された国民の命を考えることが先祖伝来の役割だといって無条件での降伏を重臣、閣僚たちに訴えているんだ。」

クマさん「それじゃあ、日本に天皇がいてよかった、て～わけだなあ。」

ご隠居「天皇は終戦後マッカーサーと会い、自分はどうなってもよいから、８０００万人の国民が明日にでも飢えて死にそうだから、と食料の確保を訴えたのは事実だ。」

クマさん「ありがて～話だ。マッカーサーも天皇陛下を信頼したって話じゃあないか。」

ご隠居「連合国は天皇を処刑せよとか、米国本土でも訴追せよとの意見があったが、マッカーサーはこれを受けず天皇以外の戦争責任を追及した。もちろん戦後処理上、天皇を利用したことも事実だと思う。ＧＨＱが参考とした鈴木安蔵たち民主憲法研究会の案でも天皇制を残すこととしたのは、日本の文化的アイデンティティ、当時の圧倒的な日本人の天皇への敬愛があったからだろうし、天皇の名前で武装解除ができ、結果的には平和主義、民主主義の憲法が受け入れらえる基盤となっていったんだな。」

クマさん「へー、ご隠居さんもそう思うんだ。」
ご隠居「いや、私は若いころは皇国史観によって多くの若者が死に追いやられたことに強い不信感を持っていたし、そのために社会主義思想にあこがれたこともあったし、併せて古代史にものめりこんできた。そうした中で最近は天皇も軍部に利用され、自分の名前で多くの人が死んでいくのを黙って見て居るだけの精神的苦痛は大きかっただろうな、普通では耐えられないなあ、などと思ったね。」

クマさん「その皇国史観っていうのはどういうもんだね。」
ご隠居「天皇は神様の子孫だ、万世一系だ。だから神聖にして犯すべからず、と言うわけで戦前は現人神だとして敬い、忠実な僕（しもべ）として天皇の国家のために死をも恐れず、と教育したんだ。」

クマさん「あっしゃ～戦後の生まれだから直接きいていないが、親から聞いたことはあるな。でもそんな話はもう通らないだろう。」
ご隠居「いや、かならずしもそうではないな。天皇制の基になっているのは『古事記』や『日本書紀』なんだが、江戸時代でさえそのまま鵜呑みにせずいろいろ学問的に研究されてきたんだが、最近、記紀に出てくる神をそのまま存在するものとした考え方などが一見科学的な装いをしながら記紀の物語をそのまま史実として受ける様な風潮が出ている。これはいわゆる従来の右翼とかそうしたものだけではないが、」

クマさん「えーと、ほら。パワースポットめぐりとかいうやつですかい。」
ご隠居「う～ん、私がいうのはそんな週刊誌的流行の話ではないんだが。つまり、そうだな。記紀神話にしても、考古学も環境考古学とかＤＮＡ分析による古代史の解明など学術的にも進んでいるんだが、そうした成果を抜きにして藤原氏が創った聖徳太子信仰をそのまま鵜呑みにする

マスコミもあるし、南方や北方民族の伝説話をそのまま組み込んだ高天原神話や海人族と大陸からの渡来民族の融合説話をそのまま神武天皇の伝説としているんだが、そうしたことを抜きにして建国記念日が定められたり、日本は古い歴史を持っていることは誇るべきだが、史実と伝説は分けて考え、受け継げなくてはならないんだが錯綜している。天皇を政治的に利用することは絶対に避けなくてはならない。」

クマさん「あれ、またなんだか難しくなってきたぞ。」
ご隠居「ああ、少し脱線したかな。だけど先の戦争を総括するには日本人としてこれからどうあるべきかを考えなくてはいけない。高名な歴史家トインビーは「歴史とは過去と現在の会話だ。」と言っている。日本人として誇りを持って生きるということは神に国だから、ということではない。古代から温帯の稲を寒冷地向きに改良し全国へ普及させ、すぐれた文芸、絵画、造形物などの文化を持ち、海外の知識、技術を工夫して自己のものとし、さらに台風、噴火、大地震、大津波などや戦火による廃墟化などを乗り越えて復興させてきたパワー、それらを基礎とした文明を築いてきたことに誇りを持つべきだ。」

クマさん「大東亜共栄圏では駄目だったんだろうか。」
ご隠居「うーん、クマさんもなかなか言うね～。日本人が明治維新で早くから近代化を図り、日露戦争の勝利で大国の仲間入りを果たしたが、当時の指導者たちは綱渡り的であったことを自覚しながら政治や戦争を進めた。しかし、その後輩たちは成功事例に依存し、思い上がりも現れていた。
特に軍部のエリート官僚主義の弊害だ。自分の思い込みで国際状況の判断を行い、先例主義がはびこり過去の成功例にしがみつき、現地や国民から遊離したところで外交政策、戦争遂行を行う、そしてマスコミはそこに便乗して付和雷同で国民を扇動した。大東亜共栄圏の理念は語られたが、実際は侵略軍であった。しかしこの理念に賛同した当時のアジアのリーダーたちは期待し、そして期待は裏切られた。」

クマさん「じゃあ、これからはどうなんで。」
ご隠居「はじめに首相談話を紹介したが、最後のところで『いかなる紛争も、法の支配を尊重し、力の行使ではなく、平和的・外交的に解決すべき』といい、世界の国々に働きかけるといっている。私も全文読んだが、網羅的であまり感銘はなかったが、現時点での政府見解として『植民

地支配、反省とお詫びなどを踏まえながら世界の平和と繁栄に貢献』を約束した以上実行が大切だと思うね。」

クマさん「それじゃあ、野党もあまり文句は言えないが、中国や韓国はどうなんだろう。」

ご隠居「今回の談話は実に巧妙にできていて、“わが国は、先の大戦について、繰り返し、痛切な反省と心からのおわびの気持ちを表明してきました。その思いを実際の行動で示すため、東南アジア、台湾、韓国、中国など苦難な歴史を胸に平和と繁栄のために力を尽くしてきました。”と言っている。つまり韓国への侵略、戦争はなかったが経済支援はやって来た、との見解を示しているんだ。」

クマさん「なるほど大戦の反省、お詫びは関係国には言っているんだ。」

ご隠居「韓国併合はロシアの圧迫、中国の騒乱という状況の中で当時の韓国からの要望もあり実行され、法的には合法だ。戦後もあらゆるインフラや資産の接収、日韓条約締結での保障や援助を行ってきており国際法上も何ら問題はない。慰安婦問題も補償している。軍が関与した慰安所が問題なら朝鮮戦争時に米軍人のために作った慰安所の方が問題だ。」

クマさん「う〜ん、いろいろあったんだなあ。もっと議論すりゃあいいじゃん。」

ご隠居「そのとおりだよ。我々日本人の近代史の勉強も不足している。だけど最近思うことは外交問題については、政治家は国内では議論すべきであるが、文化交流や経済交流な別として海外へ行って国の方針と異なる行動や言動を言うべきではないと思うね。」

クマさん「どういうことで、」

ご隠居「たとえば鳩山元首相が、韓国の西大門刑務所歴史館で土下座をしている写真が報道されたが、模型やＣＧを使っておぞましい拷問状況を小学生や観光客に見せて、いかに日本人が残虐であるかと教育しているんだが親韓的東郷元外交官もさすが辟易して韓国側をたしなめている。土下座をした鳩山氏に対しては国内の批判も多く、在日の韓国の芸能事務所も公演が中止となって“また韓流ファンが減ってしまう”と嘆いたという。私も写真を見てイヤ〜な気分になったなあ。」

クマさん「世界中へ告げ口して日本人が残酷だという宣伝をやっているんだか

らあっしは許せね～んで。」
ご隠居「今回の談話に対する韓国政府の反応は比較的弱いが、『反日』が政権維持の柱である以上取り下げることはない。首相もそこを読んで韓国には謝罪しないで、当たり障りのない表現で済ませたようだ。」

クマさん「へー、なかなかやるじゃあね～か。」
ご隠居「安倍首相としても与党公明党の要望、安保法案強行採決で支持率低下があるんで、あまりあからさまに自己主張しないで反省や謝罪の繰り返しはもうこれでおしまいにしたいということだろう。たしかに今回の談話はアセアンサミットや米議会演説、検討委員会の答申を踏まえた大方の賛意を得た内容と近いし穏当なところになったようだ。」

クマさん「つまり、安保反対の声で首相も妥協したということか。」
ご隠居「私も戦争総括のために談話を何回も読み直したんだが、言っていることは当たり障りのない所だ。現時点で謝罪を要求しているのは韓国だけだ。中国は侵略に対する歴史を容認しないという指摘があるが、盧溝橋事件は中国共産党軍の謀略であり、南京事件は戦闘行為の中で双方の残虐な行為があった事実を解明することが必要だ。」

クマさん「南京事件ってのは、実際はどうなんで。」
ご隠居「当時は欧米が中国側を支援しており、その特派員も日本軍のあら捜しをやっていたんだ。だから一部スパイの処刑をしたことが誇大に残虐行為と報道されたのは事実だ。しかし日本軍が南京に入った時には中国軍は撤退、市民の多くは避難し、治安が安定してから多くの市民が戻ったが２０万もいない。中国共産党の宣伝は何千、何万人が次第に増え、いまや３０万人を殺害したという。そんな虐殺を毎日やっていれば逃げた市民が戻ってくるわけがない。おそらく中国の体制が変わり民主化し、真摯な真相研究が発表されるまでは片付かないだろうな。」

クマさん「だけど紛争は、平和的・外交的に進めるんだろう。」
ご隠居「いいことをいうね～。そのとおりだよ。でも中国共産党がその支配の正当性を抗日戦争の勝利においている以上、簡単には妥協しないだろう。ただ日本としては粘り強く真相を究明しそれを世界に発信して、それに基づいて主張することが重要だ。」

クマさん「安倍首相は、談話で言っていることと国会で進めていることがちが

っているんじゃあね〜か。」

ご隠居「自衛隊の幹部であった専門家も、今回の安保法制案を周辺事態法など個別法の改正でやったらそんなに反対もなく通ったかも知れない、と言っている。ただ安倍首相の狙いは改憲と集団自衛権の実行であったし、アメリカで約束しているため修正ができない。しかも学者たちから違憲の判断が出され多くの国民が反対となってしまった。これは衆院解散で多数を得て長期政権で改憲を目論んだが誤算となったわけだ。まさに法理念と現実のかい離となってしまった。この政治的不備は今後とも対立と混乱を招くこととなるだろうな。」

クマさん「だけど、中国の武力で勢力を拡大していくやり方には黙って見ているわけには居られないぞ。」

ご隠居「そのためには、やはり抑止力と外交力だ。抑止力は自衛隊だけではなく安保体制も必要だ。いま世界は単独で国際紛争の解決や侵略には対応できない。したがって現在の個別自衛権と安保条約の相乗による抑止力で中国と言えど手は出せない力だ。これを基礎としながら誤った宣伝に惑わされないで反論すべきは直ちに反論することが大切だ。問題は弱い所でスキを見せるとすぐに付込む中国の衝動を抑えるのは難しい。それと中近東まで戦争に行く話は別だ。」

クマさん「どうしたらいいんで」

ご隠居「いま中国は派閥抗争で習近平が江沢民派を抑えているが、その足元の経済は不動産バブル破綻、株式投機を煽って国営企業や金融機関の救済を企図したが、株の暴落を招き負債が増加、製造業の不振で元切り下げを図ったが天津港の大爆発で出荷ができず、経済の不振が国民の不信を招き政権の威信が落ちると危機を招きかねない。武力を誇示しながら裏では日本に愛想よくせざるを得ない状況だ。安倍首相は中国とは戦略的互恵といい靖国神社参拝を見送り、日米同盟と外交力を強める方向へ進めたが安保法案ではミソをつけてしまった。安保法制案の問題は此処では触れないが、自縄自縛となったことは言えるな。」

クマさん「なるほど、アメリカとは同盟強化し、東南アジアでは親日派を増やしたが、国内では手枷足枷が強まったんだ。改憲も遠のいたってわけかァ。」

ご隠居「そうだな。今年ロシアのプーチン来日で日露平和条約締結の話を進め、領土問題も進展できれば支持率も上げられるつもりだったんだろう。」

クマさん「ロシアとの講和ができれば戦争状態が終わるということですかい。」
ご隠居「うん、そうだとも。終戦時の８月に当時のソ連軍が参戦して満州や北方領土を占領して大量の捕虜を抑留し、強制労働をさせた。この始末をつけなくては。まあロシアとの話は又別の機会にしよう。」

クマさん「それじゃあ。ご隠居さんの７０年談話ってのはないんですかい。」
ご隠居「それは前にも言ったが、遅れた植民地主義国が欧米植民地国に権益争いでいじめられ、カーっとなってケンカを売ったけどボコボコにやられてしまった。国にはその結果３１０万人を超える国民を犠牲にした責任がある。迷惑をかけた諸国には謝罪と戦後の経済援助を行ってきた。しかし戦争は国益のぶつかりあいだから勝った方が正義ということはないはずだ。戦争を考えるということはそのためにどれだけの人たちが殺され、傷ついたかを明確にすることだ。日本人の心にも深い傷を残している。日本は平和と民主主義を守る模範国として今後も世界と協力していく。地域の紛争は抑止力を持ちながら外交的努力を優先することが肝心だ。日米同盟だからと言って言いなりになってはいけない。」

クマさん「へへへ。なんだか談話みたいな模範解答だなあ。」
ご隠居「いや、安倍談話は、首相個人の思惑だけでなく、平和を希求する国民や中韓への不信を感じる国民、そして首相を支える保守層、海外の反応など多方面の課題を斟酌したもので、そうした意味で練り上げた模範解答と言う評価が多いんだが、自らの戦争責任をあいまいにした靖国神社問題、今回の集団自衛権の法的混乱、対中韓問題など国民的統一見解はまだない。そうしたあいまいさが日本の危うい所だな。」

クマさん「なるほど。まだ日本人は先の戦争を総括しきれていね～んだなあ。」
ご隠居「戦後の民主主義も平和も、それこそ国民の“不断の努力”が必要なんだ。平和もただ憲法９条があるから平和ではない。平和を実現するためには文字通り努力が必要なんだ。自民党の若手が、沖縄の辺野古移転で思うように進まないので、反対を煽る地元新聞を抑える発言が問題になったが、本来の保守民主主義の『あなたの意見には反対だが、あなたの意見発表を損なうことには反対』といったリベラル精神が失われている。右とか左とかのレッテル張りを越えた議論が必要だな。」

クマさん「だけど、今の日本はなんでも報道されているし、言いたい放題いろんな議論がされているんじゃあね～か。」

ご隠居「マスコミが正しい報道、真実を伝えているかどうかはよく確かめながら見る必要がある。たしかに戦後は自由で平和を満喫していられる国になった。それは①愚かな戦争を始めた軍国主義が敗退消滅した。②戦争放棄のため生活文化的産業優先で復興し経済大国となった。③伝統的食文化で世界一の健康長寿国となった。④江戸時代から教育水準は高く、ノーベル賞もこの１５年だけでも平均毎年１人受賞し、精密機器、医療・食品など世界の人々に貢献している。多くの各国民から信頼と敬愛を受けている面がたくさんある。こうした分野をさらに伸ばし世界平和と人々の生活の向上に貢献できる国となっているんだ。クマさんもこうしたことにもっと自信を持って、過去の歴史を思い起こしながら今できる地域への貢献などに目を向けてほしいんだ。」

クマさん「ああ、なんだか少しはすっきりしてきたぞ。あっしも日本に生まれてきてよかったと思っていたが、もっと日本人として誇りを持って頑張らなけりゃあ息子らにもえばれたもんじゃあね～からなあ。それじゃあ帰りにカキ氷でも食って頭を冷やしながら帰るとしようかな。ご隠居さんも暑さでボケないよう気を付けてくれよ～。」

ご隠居「私も長年思っていたことを話してせいせいしたよ。」

２０１５年９月　　佐塚　充

（９．２ミズリー号での降伏調印式記念の日に）

閑話休題　（お疲れでした。すこし頭のマッサージを）

◎ お笑いコーナー

すごい剣幕のクレーム客がレジで騒いでいる。店長が対応。

客　「お客様は神様じゃねーのか、こらぁぁぁ！」

店員「そ、そうです。他の神様のご迷惑になりますので・・・・」

◎よくある和訳問題。

問題「オールマイティの訳を答えよ」

回答「すべてぼくのお茶だ」

◎後輩から差し入れがあった。メモには、

「実家の姉です。食べてください。」　　（柿の間違いだ）

◎うちの母はアメリカへ行く弟を自慢して、
「ホームレスに行くんですよ。」とふれまわった。

◎　妻「明日、あなたの誕生日ね。どこか行きたい所でごちそうするわ。どこがいい？」
夫「ありがとう！じゃあ、今までオレがあまり行ったことの無い場所がいいな。」
・・・翌日。妻は夫の手を引くと、台所へ連れて行った。

◎　面接官「学生時代後悔してることはありますか？」
オ　レ「女性関係です。」
面接官「何があったんですか？」
オ　レ「何もなかったんです。」

◎　田舎の母ちゃんが、ファックスで３万円送ってくれた。トホホホ～

◎「おじいちゃんが危篤だって＼(^o^)/」
と母からメールが来た。・・・・・そんなに嬉しがらないで！

◎　妹がやっとの思いでこぎつけたお見合い。
極度に緊張して「ご趣味は？」と聞かれた妹は、「はい、“おとこ” を少々」

・・・(お琴の間違い)

◎　年頃になった娘が夜な夜な遊び回っている。
心配した父親が娘に聞いた。
父「お前、男でも出来たのか？」
娘「そんなの、産んでみなきゃわかんないでしょ！」

◎　隣りの奥さん「トイレのお掃除するのに、何使ってる？」
ウチの奥さん「いろいろ試したけど、主人が一番ね。」

◎　体重計に乗る時に腹を懸命に引っ込めるうちの母ちゃん。

「こうしないと、目盛が見えないのよ～

◎　酔っ払って帰宅した夫は、そのまま居間に寝てしまった。
　重くてとても寝床まで運べない。「這（は）って行ってよ」と
　何度も声をかけたが、そのたびに夫は　「ハッ!ハッ！ハッ！」

◎　ある焼肉屋で骨付きカルビを頼んだのだが、普通のカルビがきた。店員が間違えに気づき謝ってきたが、自分は特に気にしなかった。数分後、その店員がキムチを持ってきてこう言った。
「本当にすみません・・これほんのキムチですが。」

◎　ある老人がハイウェイを運転していた。
その時、妻が心配そうな声で彼の携帯に電話を掛けてきた。
「あなた、気をつけて。ルート 280 号線を逆走している狂った男がいるってラジオで言ってたわよ。」
老人「ああ、知ってるわい。でも、一台だけじゃないんだ。何十台という車が逆走してるんだよ。困ったもんだ。」

◎　生徒「先生、何もしてないのに僕のこと叱ることあるの？」
教師「そんな理不尽なことで怒ったりするわけないでしょ。」
生徒「良かったぁ。先生、僕宿題してません。」

◎　一昨日の昼に友達二人とこういうファミレスに行ったとき混んでたから名前を書いてもらって待ってたら暫くして
「三名様でお待ちの　の、信長様～」って呼ばれて小声で、
「こういうの書く奴必ずいるよな」って言ったら、友達がいきなり
「あぁ！いま行きますよ！秀吉君、家康君！」って立ち上がって我々をせかした。

◎　アイフォーンは言葉で「愛とは」聞くと「理解の別名」と答えてくれるそうである。では「恋とは」は書いてなかった。おそらく「誤解」とでも？
それじゃあ「結婚とは」
・・・・「和解」すれば「愉快」で
・・・・「不快」なら「苦界」でしょう。

◎　現代ことわざ

・親しき仲にも　借用書

・借金を食らわば　サラ金までも

・金持ち　献金せず

・車に轢かれて　善光寺参れず

・待てばワイロの　効き目あり

・信じるものは　足元すくわれる

・雨降って　地崩れる

（ユーモアクイズ）

① 小銭入れを見てみると１０円玉、５０円玉、１００円玉が全部で４５枚ありました。
その合計が１０００円だった場合、１００円玉は何枚あるでしょう？

② 鳥のナゾなぞ
①紐で遊ぶ鳥は、　②顔色ばかり気にする鳥。　③相撲をする鳥。
④お尻ばかり狙う鳥。

答　①あやとり、②ご機嫌取り、③関取、③しりとり

では、禁煙を宣言している鳥は？　（答え；　　）
きれいずきなとりは？　（答え；　　）
来ると嫌なとりは？　（答え；　　）

③ 鉛筆は六角形ですね。では色鉛筆はナゼ丸いのか？
（鉛筆で字を書くときはしっかり持ちます。色鉛筆を使うときはま～るく塗ったりしながら使うため）
ではマンホールのふたは丸いですね。なぜでしょう？（答え；　　）

④ 次の英文を訳してください。（俳句の好きな人向き？）
Full is care, car was to become mis,Note

⑤　４人の子供達が公園で、日が暮れるまで遊んで家に帰りました。家について上着を脱ごうとしたところ、上着を間違えていることに気がつきました。

子供達の証言は以下の通り。

Ａ「上着を忘れてきちゃった！」

Ｂ「あれ？この上着、Ａ君の名前が書いてある！」

Ｃ「あ！上着を着ていかなかったのに、誰かのを着てきちゃった！」

Ｄ「この上着は僕のじゃない！」

さて、Ｄ君の上着を着ている人を推理してみよう？　（答え；　　）

⑥　ある上品な婦人が、定食さんでご飯を食べている途中に、急用を思い出し電話をかけようとしましたが、携帯電話が電池切れだったため、お店の電話を借りることにしました。

婦人は店主を呼んで、電話を貸してくれるよう頼みました。

ところが、店主の口からは「こんにゃくとちくわはありません」とトンチンカンな返事が帰ってきました。婦人はどのように頼んだのだろう？

（答え；　　）

⑦　次に書いてあることは、あることを指し示しています。

- ２のときには３になる。

- ４のときには１になる。
- ５のときには０になる。
- ９のときには４になる。

これはいったい何を指し示しているのでしょうか？　（答え；　　）

⑧　次は、ある規則性に基いて並んでいます。へんな問題ですね。

ウメ→木

ネコ→けもの

鉄→金

クジラ→？　　（答え；　　）

＊クイズの答え

①　１００円は３枚、　　②白鳥＝スワン、ちりとり、借金取り
③　四角だとずれたとき穴に落ちてしまう。
④　古池や　かわず飛び込む　水の音
⑤　Ｃ君
⑥　「おでんはありますか？」
⑦　指折り数え（立っている指の数）
⑧　魚　（規則性とは偏を示しています。）

＜あとがき＞

　生れは昭和１５年８月８日、空襲警報の恐ろしさとＢ２９が墜落して捕虜を警察へ連行する際の激高した群衆の姿を祖母の背中で見たのが原体験です。

　いまは林子平の自嘲和歌「親なく妻なく子も無く版木無く（＝仕事無く）金も無くとも死にたくも無し」の六無斎をもじって、「そんな年寄りにはなりたく

も無し」を加えて七無斎とするわけです。生誕から続く戦争と平和のはざま、それを整理してみたわけです。せめてユーモアクイズをお楽しみください。

先日、テレビを見て居たらボケ防止には有酸素運動と頭を使うこと、それには散歩中に川柳を考えるとよいとありました。そこでさっそくマネしました。

「虫の音や　クソ熱い夏と　サヨナラだ」

「長雨や　熱き青空も　なつかしい」

「お囃子の　日ごとに上達　日待祭」

な〜んてやっていると、「散歩道　考え歩くと　つまずくよ」とご注意が。

七無斎

ウクライナの首都キエフで３１日、地方分権に関する憲法改正案を審議した最高会議（議会）前で、改憲に反対する急進右派政党支持者らが暴徒化し、議会を警備していた治安部隊員ら１２０人以上が負傷、１人が死亡した。インタファクス通信が伝えた。デモには約３千人が参加し、爆発物も投げ込まれた。デモ参加者約３０人が拘束された。

地方分権改革は、東部での政府軍と親ロシア派武装勢力による紛争の和平合意に沿ったもので、親露派支配地域により強い権限を与えることを想定している。

ポロシェンコ大統領は２９日、憲法改正案は東部に特別な自治権を与えるものではないと強調したが、別の法律で東部の自治の仕組みを定めるとしており、反対派は「事実上特別な地位を認めるものだ」と反発していた。

長屋談義（その９）プーチンは何を考えているのか

クマさん「ご隠居さん、いますかね〜。」

ご隠居「何だい、クマさん、今日はいやにあらたまっているんじゃあないかね。

クマさん「いえね、あっしもいろいろオソワッテ勉強しているうちにいろいろわかってきたような気がしていたんだが、プーチンて奴はいいやつなんですかい。

ご隠居「あのロシアの大統領のプーチンだね？」

クマさん「そうなんで、あっしは戦争を仕掛けたり、クリミヤ半島を奪ったりしているんだから、悪い奴に決まっているんだろうと女房にどやしてしまったんで」

ご隠居「そうしたら奥さんが、実情も知らないで決めつけはしないほうがいいよ、なんて軽くいなされてしまったというわけだな。」

クマさん「えへっ、めんぼくね〜。だけどなんか言い含めてやる方法はないもんだかね。」

ご隠居「別に奥さんに言い含めるためと言うよりクマさんがせっかくいろいろ知りたいと思っているんだから少しロシアやウクライナのことを簡単にまとめてみようか」

クマさん「ありがて〜、これで女房に頭を下げなくて済みそうだ。ところでついでに秋にはプーチンが日本へ来るって話もあるけどそのへんのところも一発頼みまっせ。」

ご隠居「野球のバッターじゃあるまいに、一発で片づけられるもんじゃあない。

少し歴史も振り返って見ようじゃあないか。」

クマさん「え〜、また歴史ですかい。かいつまんでお願いしまっせ。」

ご隠居「そうだなあ、まず今のロシアはその前にはソ連（ソビエト連邦）だったことは知っているな。帝政ロシアは日露戦争で敗北して国内の混乱によって革命が起こり、農奴の解放と工業化が進んだわけだ。ソ連は社会主義国になったが、冷戦時代のスターリン独裁と軍備拡張優先のため社会が停滞して自己崩壊してしまったといえる。」

クマさん「そのへんは何となく、それでいまのロシアになったんだな。」

ご隠居「まあ、そう早とちりされても困るな。たしかに経済的にも行き詰ったから

らソ連は崩壊した。そして問題となった大きな二つのことだ。ひとつはウクライナや、グルジョアなどソ連を構成する国が独立したことだ。ソ連が東独などの自由化を容認したのはこれらの国を NATO には加盟させないという約束に基づいたことだ。もう一つは崩壊したロシア経済の主力を支えたのが豊富な天然資源であった。ところがソ連崩壊によって民間に払い下げられたガス会社などが独占資本となり、さらにその利権を欧米の金融資本に売り渡そうとしたことだ。これを阻止したのがプーチンだ。だからプーチンはロシア国民にしてみれば救国の英雄だ。」

クマさん「へえ〜、そうなんだ。だけどなぜプーチンは世界中から悪者にされてしまっているのかなあ。」

ご隠居「それは先の石油ガス財閥（オルガルヒ）の幹部を逮捕して懲役刑やら

国外追放なんかをやったからさ。そうした連中や利権のうまみを欧米で手に入れそこなった連中にしてみればプーチンは最もにっくき敵なんだ。」

クマさん「なるほど立場が違えば英雄か敵かの分かれ道ってわけかァ。それにしても新聞や TV ではプーチンをほめるような記事はあんまりないからなあ」

ご隠居「それは世界のメディアで一番力を持っているのは米英、EU 諸国のニュースが日本でも報道されるからさ。クマさんも一つニュースを読むときに反対側の立場の人はどんな考えなんだろう、とかそこに住んでいる人たちはどんな暮らし方をしているんだろうと考えながら読んでみる習慣をつけるといいよ。」

クマさん「え～。じゃあ、今問題になっているイスラム国の連中のことも考えるんですかい。」

ご隠居「そうだなあ、なぜあんなテロ集団に応募するのか、その背景となる人種差別や失業のこと、だれがあの連中を支えているのか、イスラム国に支配されている住人たちや武器で脅迫されて従っている部族長たちのことなど本当に複雑なんだな。私だっていやになってしまうがな。」

クマさん「ところでプーチンが悪者にされているのがクリミア半島をロシアのものにしてしまったからだろう。やっぱり他国から人のものを取ってしまってはいかんだろうが。」

ご隠居「クリミアには不凍港のロシア海軍の拠点があり、もともとはソ連の領土で問題がなかったし、いまでもロシア人が６割住んでいる。それをフルシチョフ元首相がウクライナの管理下に任せていた。ところが独立後の２０１３年の政変（クーデター）で親ロシア派の大統領が追放されてしまったんだ。当時の駐ウクライナ大使の馬淵氏の報告でも、クーデターを起こしたのはネオナチと言われている勢力が主力で、国会で大統領解任決議もなく、いまのウクライナ政権は非合法な存在だと言っているんだ。」

クマさん「なんだ、クリミアはもともとロシアのものだったのか。」

ご隠居「クリミアの人たちは、ウクライナ政権が非常事態でうまれたので、自分たちの帰属を住民投票で決めて、ロシアがこれを受け入れたわけだ。いまの中国のように武力で攻めて自国のものにしたわけじゃあない。」

クマさん「だって欧米諸国はこのために制裁を行っているんじゃあないか。」
ご隠居「だいたいクーデターを行った主力部隊を支援したのがアメリカのネオコンの残党で、国務省のヌーランド国務次官補が現地で支援する姿が放映され、追放した大統領の後継者は誰にしようかなんて現地の大使と電話で相談する話が youtube で放映されている。世界中の識者は背景にいる国際金融勢力（たとえばジョージ・ソロス）なんかの陰謀だと考えているんだな。そうした勢力がオバマを脅して制裁を行わせているんだ。ＥＵの独仏なんかはいやいやながらついているって感じだ。」

クマさん「なんだ、それじゃあ、あっしもプーチンの悪口をいうわけにはいかんなあ。」
ご隠居「だから、奥さんも一方的に人の悪口を言わないようたしなめたんだろう。だけど怖いのはクマさんがそう思うように世界中をだまして、自分たちの思うようにして利権を奪い取ろうとする金融、石油、軍需産業などの勢力がいることは事実だ。」

クマさん「あっしもよく気を付けなけりゃ～。でもみんなプーチンが無理を押し通すからウクライナの戦争が起こったんではないかと思っているぞ。」
ご隠居「たとえばウクライナの東部にはロシア人系の住民が多いんだが、ネオナチを主力とするウクライナ軍で東部地域の都市を制圧しようとしたが、東部の反撃によって進まない。ロシア軍の籍を脱した義勇兵が親ロシア派を支援していることは私も否定しないが、正規のロシア軍が国境を越えて戦闘に参加していることはないし、ウクライナ軍側がそうした事実を立証しようとしたが成功していない。逆に言えばそうした動きで足を引っ張られることをプーチンは避けているんだ。」

クマさん「だけどウクライナの東部地区を飛んでいたマレーシア機が撃墜されたとき、すぐにウクライナ側はロシアのミサイルで撃ち落としたと言っていたぞ。」
ご隠居「もちろんロシア側は否定したが、当時（２０１４年）の世界のメディアの多くはミサイル説をとっていたな。しかし親ロシア派はミサイルを持っていないことがわかり、撃墜された残骸や死体を親ロシア側の人たちが丁寧に集め引き渡した。さらに公表された残骸写真を分析した軍事専門家は撃墜がミサイルではなく、戦闘機の機銃砲の弾丸であ

ること。衛星写真でウクライナの戦闘機が付近を飛んでいたこと、中立機関へ引き渡されたはずのブラックボックスやフライトレコーダーがいつの間にかオランダを経由してイギリスへ渡り、１年以上になりながら何らかの報告もされていない、などなど疑問点も多いようだ。」

クマさん「それでＥＵ側はアメリカのネオコンなどが仕掛けたことを黙認していたわけなのかァ。」

ご隠居「いまＥＵは痛しかゆしなんだ。もともとウクライナが一方的に親ロシア政権でロシアのガスの安定供給を受ける立場としては不安もある。しかし経済破たん状況のウクライナがＥＵに加盟してもらっても負担ばかり大きくなるんで困る。ネオナチの暴走には困り果てて、ウクライナ停戦ではプーチンとポロシェンコ大統領の停戦協定にはアメリカを外してドイツ、フランスが立ち会っているのが実情だ。おまけにギリシア金融危機問題も頭が痛い。」

クマさん「なるほど、だけどオバマは相変わらず制裁を口にして居る様じゃあないか。」

ご隠居「Ｇ７の折には制裁強化を主張したオバマも内心ではわかってきているようでヌーランドには停戦順守を進めるよう指示し、またネオコンへの武器供与を停止するよう軍にも指示しているとの報道もされた。大国の手前いっぺん振り上げた手を下すにはそれなりのメンツと時間も必要だ。だいたい今のアメリカはいろいろなグループがオバマを牛耳っているんだ」

クマさん「だけど、Ｇ７に出た安倍首相もロシアへの制裁は追従しているんだろう。秋には訪日するといっていたプーチンを迎えるに支障にならないのかな。」

ご隠居「クマさんもプーチンの気持ちがわかるようだね。これは大事な話だ。プーチンにしてみればいわれのない制裁にはじっと耐えている。しかし天然ガスなどの資源だけに国の経済を頼るわけにはいかない。将来を考えるときに自国の経済体制の成長を一番考えなくてはならない。ＥＵではドイツが一人勝ちをしてきたがライバルである。中国とは貿易をやるが本当に信頼できる相手ではない。特に極東に中国の進出を認めると中国の経済圏とされてしまう心配がある。だから日本との経済交流がロシアの生きる道だと思っている。」

クマさん「ふ〜ん、プーチンがそんなに日本と手を握りたいと思っているのか。」
ご隠居「だけど、クマさん。日本とロシアは法的には戦争状況なんだよ。アメリカ等とはサンフランシスコ条約によって、中国、韓国とはそれぞれ日中平和条約、日韓条約で講和条約は結ばれ国際法的には一切の戦時処理は終結している。中国や韓国が過去を今更のように蒸し返すのは国際ルールからして非常識だ。だが日本としても中国の膨張主義的覇権主義には辟易しているし、ようやくアメリカもそれに気が付いてきたようだ。そんな折だから日本としてはロシアとの平和条約締結、北方領土返還の解決のチャンスなんだ。日米対中露の対立ではなく、ロシアとの連携を作るチャンスにしなければならない。」

クマさん「へー、なかなかおもしろいなあ。そんなにうまく行くんかいな〜」
ご隠居「日露平和条約は１９５６年に当時の元鳩山首相が日ソ共同宣言で北方領土は歯舞、色丹２島返還で話がついていた。それに横やりを入れたのが冷戦時代のアメリカでソ連の軍事的脅威を減らすため４島返還に固執して、沖縄を返さないぞと言って恫喝し、日本は建前４島返還論となり、そのままになってしまった。しかし２００５年プーチンは日ソ協同宣言を柱とする案を表明している。今年の４月にもそうした案をほのめかしていた。日本側の建前は４島返還だが共同宣言の立場もあり、サンフランシスコ条約の当時もエトロフやクナシリは千島列島に含まれ日本は放棄している、との見解もある。最近のロシア側は領土問題はない、４島も含めて千島列島の開発を進めており、学校や豪華な病院、軍事施設建設も進んでおり簡単に手放せなくなっているんだ。メドベージェフ首相が択捉島を訪問している。」

クマさん「それじゃ、４島返還を主張するのは難しい話じゃあないか。」
ご隠居「それが日本側の返還論は議論百出で、日本共産党さえも４島返還を主張している。それにも３島返還論、面積で等分返還論など様々な議論があるんだ。こうした日本側の議論があるからロシア側はサンフランシスーーーーーーーーーーコ条約には加わっていないが北方４島は日本が放棄しており、領土問題は存在しない。しかも戦後７０年経ってロシア側住民たちの意向、ロシアの生活や軍事拠点となっている状況もある。だから平和条約が締結できたら歯舞、色丹を『返還』ではなく『譲渡』してもよい、と言う態度であった。ようするに日本側のスタンスが決まらないからだ。だからプーチンは歯舞、色丹の返還を前提に平和条約を締結して択捉、国後は経済自由特区にしており、共同

管理のような提案をしてくるかもしれない。私もその辺で落ち着いたら成功だと思うね。」

クマさん「でもそれじゃあ不満だという連中が出てくるんだろうなあ。アメリカはどうなんだろう。」

ご隠居「４月にアメリカへ行った安倍首相がオバマと会談した際にこの話をしたという記録があるんだが、オバマがどう反応したかの記録はない。つまりアメリカとしては日本の戦争状態の解消と言う特殊状況、そして中国に対する牽制と言ったことで黙認する、と云う事ではないかとさきほどの元外交官の馬淵氏が書いている。」

クマさん「日ロ平和条約になればロシアの天然ガスももっと入るようになるし、経済交流が進めば結構なことだなあ。」

ご隠居「だけどアメリカの石油メジャーやシェールガスなどはどう思うかわからないぞ。彼らは自分たちが世界を動かしていると思っているから自分たちに都合の悪いことは戦争をやっても阻止しようとするんだから。日米の右翼をけしかけて交渉をつぶさせるかもしれない。」

クマさん「う〜ん、そこまで言われてもなあ〜」

ご隠居「さっき、マレーシア機の撃墜の話をしただろう。あれは南米から帰るプーチンの専用機をウクライナ戦闘機が撃墜しようとしたとの説もあるんだ。しかし当日、プーチン機はウクライナ上空を通らずにロシアへ帰還していたんだ。そしてもう一つはマレーシア機をロシア東部上空へ誘導して戦闘機で撃墜しておいて、親ロシア派がミサイルで撃墜したと世界中へ宣伝した可能性がある。これはウクライナ機の撃墜した兵士がネットで告白した。またウクライナの管制塔の記録がなぜか削除されて公表されない。撃墜の直後、ロシア軍が撃墜を命じたという連絡記録が公表されたがなぜすぐ直後にそんな情報を入手できたのか不明とされている。ウクライナ側がなぜ国際中立調査団の受け入れを拒絶しているのか，等々の疑問が世界中から寄せられているんだ。何をしでかすかわからん連中がいるってことだ。日本のマスコミはそんな情報は流さないがね。」

クマさん「そんな話があるんですかい。おぞましい話だなあ。」

ご隠居「世界はクマさんのような善良な人ばかりではない。金儲けのためには平気で人殺しもやる人間もいるし、もっと悪い奴は豪華な部屋で高級

な服を着てそうした命令を出している。」

クマさん「それじゃあ、いつまでたっても世界は平和にならね～じゃあねーか。」
ご隠居「まあ、人間はすべて性善でもないし性悪でもない。あえて言えば９７％は根は善良だ。政治や経済のゆがみから一時的に悪徳への道を歩む場合もあるが世界の歴史は少しずつ進歩しているし、性悪の連中は必ずしも成功していないさ。悪の帝国はいつかは滅びるのさ。」

クマさん「ご隠居さんは気楽でいいなあ。よくそんなのんびりしたことを言っていられるもんだ。」
ご隠居「いや、あまり後ろ向きの話をしたんではまたまたクマさんが落ち着いて仕事ができなくなると困るからな。それでも考えてごらん。首相特使として１３年２月に訪露した森喜朗元首相に対し、大統領は自らが言及した「引き分け」提案について、「勝ち負けのない、双方に受け入れ可能な解決」と説明しているんだ。だがその後、去年はジョージ・ソロスは『第３次大戦になってもロシアとの戦争を避けるな。』と記者会見なんかで煽っていたんだよ。それでアメリカはＮＡＴＯ軍でルーマニア国境にミサイル陣地を構築する動きをしていたんだ。だからプーチンは、西側が約束を破り核基地を作るならロシアもそれに対抗措置をするぞ、と強い声明を出したんだ。マスコミは相変わらずプーチンが核基地の増強の意図があると報道したが、これは本末転倒だな。ちょっかいを出して原因を作ったことに対抗した方が悪く言われているんだ。」

クマさん「なんだ、そういうことがあったんだ。それじゃあプーチンもやっきりするのは当然だ。」
ご隠居「オバマもだいぶわかってきたらしいね。例のイランの核抑制協定もバックのロシアとしても自国の損を覚悟の上で支援したんだ。だからオバマも電話でプーチンに礼を言っている。やっているふりをしているドイツやフランスもそのうちなし崩しで制裁をやめていくだろうな。」

クマさん「なるほど。でもプーチンが損を覚悟でイランを抑えたってのはなぜなんだね。」
ご隠居「イランが核問題で譲歩して協定ができればアメリカもイラン制裁をやめるだろう。そうなればイランの石油の輸出が増える。するとロシアの石油やガスなんかの価格が安くなってしまうだろう。それでも周辺

の安定を優先したわけだ。もっとも米シェールガスも安くなる。」

クマさん「そういうことだったのかあ。プーチンてなかなかのもんじゃあないか。あっしも見直したぜ。」

ご隠居「いや、私もプーチンが善人だ、と言っているわけじゃあないよ。彼は民族主義者で、冷静に国益を最優先に考えている。だから東部の親ロシア派を独立させようと考えているわけじゃあない。破産状態のウクライナをＥＵ側と共同で支援して安定した政権を樹立させて滞納しているガス代を支払ってもらいたいし、ウクライナがＮＡＴＯに入るのも抑えたいわけだ。平和と安定した政権がロシアにとっても重要な課題だと冷静に判断しているし、ネオナチなんかの勢力がウクライナ憲法改正で孤立しつつあることもニュースになっている。」

クマさん「なるほど、ご隠居さんが単なる楽天主義ではないと云う事がわかったよ。」

ご隠居「いまさらのように言いなさんな。だけど元外交官の馬淵氏も書いているが“外交は、国益７割、道義が３割”というんだが、プーチン大統領が冷静な国益主義者であり、安定した国民の支持を受けていることから、この秋の来日には私も期待しているんだ。そして決断するのは日本側なのかもしれないんだ。」

クマさん「プーチンは日本が好きだ、って言っていたぞ。」

ご隠居「うん、それも大事だが情義だけでは外交は進まない。ロシアの将来と北方領土問題を考えるとき、目先の現地の情実より高度な判断で相互の譲歩が実現されることを望みたいね。だからさっきプーチンが『引き分け』でいこうといっているんだ。」

クマさん「そうなると安倍首相の判断も重大だなあ。支持率も下がっているし、うまく対応できるか心配だ。」

ご隠居「これまでの面談では呼吸は合っている様だ。どこかの評論家が言っていたがオバマよりウマが合うようだ。もし日露が話し合いで領土問題を決定し、平和条約が締結される方向になれば一番のショックは中国の習近平だろう。プーチンには領土の平和的解決の先例を作られ、中露の結束に溝を作られ、日本企業がロシアへどんどん進出して、製品を中国へ輸出するようになったら面目も丸つぶれだからなあ。彼の中華の夢もどうなるか。」

クマさん「ご隠居さんも日本の夢を語るってやつですかい。」
ご隠居「いやね、眠れない夏の夜の夢ってやつさ。でもこうした方向へ両国が動いている以上、遅かれ早かれ実現するさ。戦後７０年もたっているんだからなあ。もし今回、実現できなければ半永久的に無理となることは両国の外交部もわかっているからだ。問題はどんな形で決着できるかだ。多数の国益がぶつかり合っているＴＰＰよりも２国間の懸案事項だし、最後の決着のチャンスだ。」

クマさん「なんか、ご隠居さんの方が熱いんじゃあないのかな。」
ご隠居「そんなに冷やかさんでくれ。クマさんもプーチンが何を考えているのか少しは分かっただろう。私が言ったことは国際情報に詳しい人の話を総合して話しているんだから当たらずといえども遠からじ、と言うところだと思うよ。プーチンはウクライナの問題は自信を持っている様だ。エネルギー資源でコントロールできると考えているからだろう。だから東部地区の親ロシア派がクリミアと同じように住民投票をやろうとしたがプーチンは反対したんだ。」

クマさん「なかなかの戦略家なんだなあ。だから日本との交渉でもただ仲良くしようなんてヤワじゃあないだろうな。」
ご隠居「国益に基づいた冷静な判断をするから一本筋ではいかないよ。でもソ連崩壊の時も軍部は中立を保ち、中国軍のように自国の国民を戦車でひいたり無差別銃撃なんかしていない。中国の軍隊は共産党を守るために生まれたんだから今も政権をかなり牛耳っている。プーチンは国民の支持率も高く、軍も押さえている。欧米のタテマエの経済制裁でも今は経済も安定している様だから、思い切った方針を出してくる可能性があると思うな。」

クマさん「アメリカがまた邪魔するんじゃあないだろうな。」
ご隠居「その心配はないだろう。ケリー国務長官がロシアへ行ってプーチン大統領や外務大臣と長時間話をした後、記者会見でウクライナの停戦協定が守られるなら制裁解除する、と表明している。クリミア問題も触れずに黙認する腹だ。今アメリカは中国のＡＩＩＢ投資銀行では参加国が予想以上に多く、南沙諸島の埋め立て軍事基地化で面目を失っている。だからイランと手打ちをやり中東から手を引き、ウクライナ問題でもロシアと手を打てば、対中国でのアジア重視政策に専念できる。」

クマさん「へー、相変わらず楽天的だなあ。そううまくいけるのかなあ。」
ご隠居「プーチンは天然ガスを中国へも売ろうとしたが、本心では中国に対しては疑心暗鬼だ。中国は私益優先で、信義がない。日本の立場とすればロシアの原油や天然ガスをもっと輸入したい。ロシアの消費力は高いから輸出も増やしたい。ロシアの産業で強いのは軍需産業だけでなくＩＴ産業もアウトソーシング（委託生産）ではインド、中国についで世界 3 位だ。これは昔から科学・数学教育が進んできたせいだ。日本も中国への発注をやめてロシアへ発注したほうがいい。ハッカー、サイバー戦のこともあるからなあ。」

クマさん「なるほどなあ。」
ご隠居「それに日本は生産財の製造が得意なんだが、その半導体や光ファイバー、ＭＲＩなどの製造に欠かせないヘリウムが枯渇している。いま日本は９８％近くアメリカから輸入しているが、もう１０年以内にアメリカからの輸入はひっ迫すると国会答弁があり、いまも制限し始めている。ヘリウムは天然ガスの精製の時にできるが、シェールガスからは採れないんだ。だから日本の工業の発展のためにもヘリウムが必要なんだ。ようやくロシアで 18 年から日本の企業が進出して共同生産を行うようだ。いまヘリウムがないのでディズニーランドではミッキーマウスの風船を飛ばすこともできないんだそうだ。」

クマさん「あっしもＭＲＩのお世話になったこともあるんだが、風船も飛ばせないなんてちっとも知らなかったなあ。」
ご隠居「昨年、安倍首相がロシアへ行った際には１００人の経営者を引き連れていき、引き続き政府だけでなく日本の経営者たちも定期的にロシア側との懇親会議を開催して今後の投資計画なんかの意見交換も進んでいる様だ。たとえば三菱ふそうなんかはこの 9 月からトラックの生産を拡大して 10 年後には 6 倍となる計画を進めている。先日も日本の半導体が入らないため中国でスマホを作れないというニュースが流れたけど、ロシアのヘリウムガスを使えるようになればロシアで半導体を作ればいいんだ。」

クマさん「そうなのか。あっしもテレビなんかでプーチンの悪口のマスコミを信じていたんで一方的な宣伝だけを信じちゃあいけないんだと思ったね。さっそくご隠居さんの話を女房に言って聞かせてやります。」

ご隠居「クマさんも、奥さんにどなったりしないで仲良く落ち着いて話をするように心がけなくてはいけないよ。まず相手の話によく耳を傾けて、違いがあることはじっくり話し合うことだな。相手の云う事には耳を貸さず、自分が絶対正しい、なんて主張するやり方はいまの中国、韓国と一緒だ。これじゃあ、世界中からバカにされ、しまいには相手にされなくなってしまうんだよ。」

クマさん「あっしが中国や韓国の連中と一緒にされたんじゃあ男が下がってしまわ〜。まあ謝罪はしないが大いに反省はするとしようかな。」
ご隠居「どっかの国の首相みたいな言い方だな。まあ、本当のことを知ってそれに基づいた話をしてま〜るく解決できるといいね。奥さんには頭を下げたほうがいいね。外交では謝罪とは損害賠償を伴う行為だけれど、日本では謝罪は和解の方法なんだから。」

長屋談義（その７）沖縄は狙われているか

クマさん「たいへんだあ、ご隠居さんいるかね〜　大変なんだ〜」
ご隠居「なんだね。また大きな声を出して、みっともないから早く入ってまあおかけなさいよ。今度は奥さんが出て行ってしまったわけじゃあないんだろう？」

クマさん「いや、決してそんなわけじゃあないんで、なんか中国の奴らが沖縄まで手に入れようって魂胆だと聞いて腹が立ってついちゃぶ台をひっくりかえしてしまっただがね〜」
ご隠居「それじゃあ奥方も怒るわけだ。困った人だね〜。ところでなんでそんなにむきになっているんだね。」

クマさん「だって日本は尖閣列島ばかりか沖縄そのものを中国から盗んだといっているそうじゃあないか。
ご隠居「まあまあ、落ち着いて、中国人は常に自分の言うことは正しいと思い込んでしまう人たちだ。なぜなら自分は常に正しいことをいう人間だから、というわけだ。それに誇大妄想ぎみのところもあるからなあ。ここはじっくりクマさんにも沖縄の歴史を知ってもらわなくてはならないよ

うだね。」

クマさん「え～、また歴史の話ですかい。なんなら手っ取り早くお願いしますぜ。
こちとらは忙しいんですから。」

ご隠居「忙しい人があんまり中国人の宣伝にいちいち惑わされていてはいかんね～。まあかいつまんで話すようにするから安心して仕事に行けるようしっかり聞いておいたほうがいいね。」

クマさん「まあ、今日は休みだし、女房にがみがみ言われるよりご隠居さんの話を聞いておくことにするか。」

ご隠居「なんだか開き直った感じだな。いいかね、沖縄は日本の領土であることは間違いないんだよ。その理由はまず沖縄など南西諸島は日本人のベースとも言える縄文人のご先祖様の国でもあったんだな。これは前に DNA にみる日本人のルーツでも話しただろ。二つ目には沖縄方言はこの縄文語に稲作民（倭人）の言葉、さらには古墳時代になって騎馬民族系といわれるアルタイ語の文法がはいり日本語が形成されているんだが、沖縄には遅れて稲作や古代語が入っていったんだ。ところが沖縄語の母音は、あ、い、う、の流れしかないから独特の方言となっていったんだな。たとえば『ことば kotoba→ku/tuo/ba くとうば』、雨 ame は ami アミとなる。私なんか『めんそ～れ』がいらっしゃいませ、の言葉だというがどうも（御免そうらえ）といった言葉がなまったんじゃあないのかなあと思ってたね。もちろん子音も変化するしそんな単純ではないがね。でも飛鳥時代に本土人の移住のあったことは DNA も示している。」

クマさん「ああ、沖縄語はもとは日本語と同じかあ、あっしゃあ全然別の言葉だと思っていたなあ。」

ご隠居「いまは東京言葉が標準語となっているが、戦後でも鹿児島と博多あたりでも話がよく通じなかったといわれるくらいに日本全国での方言の違いはかなりあったんだ。７世紀ごろに大和朝廷の使者が派遣され、稲作やヤマト言葉が移入され、１３世紀ごろから平仮名が入ってくる。そのころから次第に地区や島ごとに支配者が生まれ、やがて琉球王国ができるんだ。それが１７世紀になって薩摩藩の支配下にされているが、民族的にも法的にも実効支配が続いていたことも含めて我が国の領土であることは言うまでもない。」

クマさん「なるほど、血筋も経済も言葉も古代から日本の範囲だったんだなあ。」
ご隠居「だいたい、『元朝』以前の中国は沖縄がどこにあったのかさえ分かっておらず台湾と混同したりしていたんだ。しかも中国は胡族の５胡１６国の騒乱、モンゴル族の元朝、満州人の清朝など北方からの侵入によっていつも支配されていた歴史が長く海洋への関心はほとんどなかったし、本来は万里の長城以北も中国ではないはずだ。」

クマさん「でも琉球は中国にも貢物を持って行ったんだろう。」
ご隠居「そうだ、薩摩藩支配となっても琉球王国を認め、江戸幕府は明との交易を認めていた。しかし明から朝貢せよとの使者を無礼として切り捨てるなどしている。しかし明との交易を独占した薩摩藩は莫大な利益を上げていたんだな。中国は世界の中心であり、周辺国は朝貢して従属するものとしていたから沖縄が貿易をするにも建前上貢物を持ってくれば代わりに中国の物品を与えるという形で交易をしていた。そして明治になって日清戦争時に台湾が日本に併合されたんだが、中国側は沖縄も南西諸島を含めて日本の領土であることは容認していた。清国が倒れて中華民国の時代も、台湾人が救助された謝礼文でも『日本帝国沖縄県八重山郡尖閣列島』と記載した感謝状も残っている。だけど最近（２０１３年）になって琉球はかつての朝貢国だから中国の版図だという考えを急に言うようになったんだな。」

クマさん「中国と貿易をやっていたから中国の領土というなんて勝手だなあ。」
ご隠居「だけどチベットはかつて朝貢国だからその国の民を救済するという名目で共産軍が占領して、いまやチベットや内モンゴル民族そのものの抹殺を目指した弾圧、虐殺をしているのだから恐ろしいことだ。」

クマさん「それじゃあ、あっしが怒りたくなるわけだ。でも中国が沖縄を中国のものというわけはそれだけじゃあないんだろう。」
ご隠居「そこなんだ、最近の中国は、琉球は台湾に属するものでポツダム宣言受託で台湾を返還することになったんだから尖閣列島も台湾に返すべきだ。そして台湾は中国だから台湾が中国に一体化すれば当然中国領となる、ということを言い出しているんだ。当の台湾人は共産党独裁中国との一体化は望んでいないが、尖閣列島などは台湾に所属するべきと言っている。」

クマさん「だって中国は日清戦争時に台湾を委譲したとき、尖閣列島はもともと日本のものと言っていたんだろう。」

ご隠居「そうなんだ。中華民国もそれを認めていた。確かに尖閣列島や八重山諸島は台湾に近い。しかし沖縄人と台湾の先住民とはDNAでは異なっている。政府は台湾まで敵に回したくないから台湾とは超法規的に漁業協定を結んでバランスを取ろうとしているけど。」

クマさん「だけど最近は沖縄でも独立すべきだという人がいるって話だぞ。」

ご隠居「そうなんだ。沖縄社民党の照屋寛徳衆議院議員は「沖縄は独立したほうがよい。」と言い出している。記者が（独立して財政はどうか）と質問に対して『それは中国が出してくれる。』と答えていると言うんだな。石垣出身の大学教授が琉球独立学会なんかを作って活動を始めているようだ。」

クマさん「え〜。それじゃあ中国の思う通りじゃね〜か。」

ご隠居「もちろん、この発言の裏には米軍基地を沖縄に押し付けている政府にするいら立ちがあるんだと思うがね。ただそれにしても不審なことは翁長知事まで世界一危険な軍事基地ともいわれる普天間基地の代替移転先辺野古をめぐって政府と沖縄県との厳しい対立があるが、その知事も那覇市長の時から親中国の姿勢を明確にしている。ゆ中国から招待されての際に習近平主席と面談したが尖閣列島の緊張については何ら発言しなかったことを記者に聞かれたが『時間がなかった』とだけしか回答していない。しかし中国側は『翁長知事は、沖縄の馬英九（台湾総統）だ。日本政府への依存度を下げ、中国の影響を強める』役割と評価しているようだ。」

クマさん「なんだ、情けない。足元を見られているってわけか」

ご隠居「甘く見られているのは本土の政治家も同じだ。かつて竹下首相の事務所に人民解放軍籍の事務員がいたと報道されみんなびっくりしたが、橋本首相も女工作員を知らずに愛人としていたこともあったからなあ。」

クマさん「それじゃあ、日本は中国に足元をすくわれているんじゃあないのか。」

ご隠居「辺野古への基地移転は環境面での影響は大きく、慎重な対策が必要だと思うが、那覇軍港拡張工事では漁民の反対の声に対して翁長市長は『粛々と進める』といった人が菅官房長官に対しては、『粛々とは上か

ら目線だ。』と批判しているんだからダブルスタンダードだな。」

クマさん「じゃあ、どうしたらいいんだろうなあ。」
ご隠居「民主党内閣のとき鳩山首相は『国外、最低でも県外』と言って沖縄県民をぬか喜びさせた後でやはり辺野古候補地しか無いとしておおいに失望させたのは記憶に新しい。私もがっかりさせられた。肝心なことは市街地の中心にある普天間基地の移転が最優先であること、尖閣列島をはじめ南沙諸島の埋め立て軍事基地化を進める中国の覇権主義はアセアン諸国のみならず航海の安全が必要な日本にとっても重要な問題となる。日本に米軍基地がないほうがベターだ。しかし中国の横暴（チベット滅亡やブータンあたりまで少しずつ浸食し、尖閣列島へ挑発をかけている）を知ってしまった私としては従来の日米安保は必要悪と考えざるを得ない。いまや８割の人が安保容認となっている。」

クマさん「へい、あっしもそう思いますがね～」
ご隠居「Ｇ８でオバマがシリア爆撃を主張したとき、プーチンは悪をつぶせばもっと極悪が出てくる、といって反対した。シリアでは反政府グループの中から『イスラム国』という極悪が出てきたのはプーチンの指摘通りだ。その後、オバマは CIA 介入でのウクライナ政権転覆後、クリミヤ住民が投票の結果、ロシアへの復帰を決議しロシアは容認した。だがオバマは渋る EU 諸国の尻をたたいて制裁を行っている。そのくせ中国への制裁など口にもしない。昔は日本に対して NATO だと言ってきた。No Action Take Only と言うわけだ。」

クマさん「つまりオバマが中国に甘い顔をしたので中国が図に乗って軍事的拡大を進めてきたというわけですかい。」
ご隠居「その通りだよ。南沙諸島でもアメリカ軍を撤退させたとたんに中国は武力でフィリピンやベトナムの領有していた島を強奪して埋め立てを行っている。アメリカはブッシュのイラク戦争など中東戦争に懲りて、経済的にも低迷して中国と事を構えることを避けてきたんだ。中国は太平洋の半分をよこせといったのはアメリカが反対しても中国は進出するよという構えで不沈空母を建設するという腹だ。」

クマさん「なんだ、オバマは弱い相手には制裁、セイサイというが中国に対してはへっぴりごしなんだなあ。」
ご隠居「なんせアメリカ国債を一番買ってくれていたからなんだ。しかし最近

は中国の『世界の下請け工場』も輸出不振で過剰生産、不動産バブルも破綻し、外国の投資も撤退し外貨準備がどんどん減って、いまや世界一の債務王国となってしまっている。AIIB アジアインフラ投資銀行などは不況の英国や EU が人権問題の糾弾をやめて中国へ頭を下げ始めたが、どうせ中国は新たな借り入れで原発や鉄道などを輸出しようという便法だ。そういえば中国の米国債が減ったので日本がまた一番の保有国になってしまったな。その上株の暴落と来ているからなあ。」

クマさん「それじゃあ、中国も必死なんだ。だけどなんであんなに強気でいられるなんだろう。」

ご隠居「それは国内の様々な不満を抑制、政敵である江沢民派への抑制、対外的覇権を主張するために軍部に依拠せざるを得ないからだ。だから敵対派閥の幹部を粛清しながら海軍増強を柱に軍を再編成しており、もはやそこにしか政権維持することができないからだ。だから軍部の発言力が党内で強大になっている。」

クマさん「独裁政権がますます軍部に引き回されるんじゃあ危ない話だなあ。」

ご隠居「そうなんだ。いま中国の実際の GDP 成長率は５％もなく、低下していると分析されている。人件費は上昇し、下請け工場のうまみがなくなり GE などアメリカ企業もメキシコあたりへ撤収している。が、それとは関係なく軍備の増強は進んでいる。今日の新聞にも出ているが尖閣列島への介入にも最新鋭の無人機の導入、海警の艦隊増強も進んでいる。日本がいくら友好を言っても海警が尖閣列島を占拠した場合、いまの法体系では自衛隊が出るわけにはいかない。既成事実で脅威が増していることは事実だ。」

クマさん「孤立や経済破綻でも中国は覇権主義で走っているんですかい。」

ご隠居「もはやわかっていてもどうにもならない、というところじゃあないのかな。立ち止まったら政敵に粛清されるのが中国流なんだから。軍事的にも中距離ミサイルについては、『中国には東北部や山東省などに日本の工業地域に向けて中距離ミサイルシステムが配備されており、いつでも東京湾などに密集した攻撃しやすい工業地帯に打撃を与えることができると』したほか、「ＤＦ－１５」、「ＤＨ－１０」などの中距離ミサイルが日本の空港を攻撃すれば、航空自衛隊の飛行機は発着ができなくなると言っているんだ。」

クマさん「うーん、そういわれてみれば怖い話だなあ。」
ご隠居「中国はまず宣伝戦で反日統一戦線を組んでいく、つまりロシア、韓国と歩調を合せて日本の日中戦争の発端となった盧溝橋事件も中国共産党が仕掛けたと戦後云っていたが、今では日本軍が仕掛けたとか“南京虐殺”など誇大宣伝に躍起となっている。いわく日本は侵略者で敗戦国だ。それを反省しない。誇大宣伝と謀略が得意技だからなあ。」

クマさん「でも宣伝だけではないだろうが、東シナ海のガス田掘削もかってにやっているんだろう。」
ご隠居「そうなんだ。日中共同開発の取り決めがあるにもかかわらず、もはや12 基のプラットフォームを建設しているんだ。抗議してもやめないので日本が写真を公表したら、『日本はとやかく事を荒立てる』と原因は自分達でありながら対立の元は日本にあるかのような発表をしているんだな。問題はガス掘削の名目でレーダー基地建設など軍事拠点づくりを進める意図があることだ。」

クマさん「いやはやずる賢いやつらだなあ。」
ご隠居「つまり今や国際外交の舞台でも軍部が主導権を握って表へ出てきている。スキがあれば付込んでとれるところはとるという姿勢だ。これは危険
極まりないことだ。これがすべてうまくいっているわけではない。逆に反発する国が増えているのも事実だ。アセアン諸国だけでなく、味方のはずのロシアも日本とは協調したいと考えている。プーチンは歯舞、色丹など２島返還、あと２島は経済発展区域で共同管理していこうという腹だ。」

クマさん「それも面白なあ。中国やアメリカの向こうを張って日本が独自の外交が実現して、中国や韓国の思惑を打破できるのも一石三鳥だ。」
ご隠居「お～、クマさんもなかなか自分の考えを言うんじゃあないか。」

クマさん「えへへ、それほどじゃあないけんどね～、ところで肝心の沖縄の人はどう思っているんだろうねえ。」
ご隠居「私も昨年と今年の春に２回石垣島へ行ってきたが、いまさら中国属国になろうなんて言う人はいなかったな。那覇市でも中国人観光客は一杯いたがね。辺野古移転反対へ集まっている人たちも本土から行っている人も多いようだが、やはり沖縄に過重な負担をかけていると思う

と心が痛む思いだなあ。しかしではどう解決策があるのかというと本土の基地だって米軍との共用やら運用面でいっぱいだから受けようがないのも事実ではないのかな。」

クマさん「そういや～自民党の勉強会で沖縄の新聞をつぶせ、なんていって問題になっていたなあ」

ご隠居「あれは講師の百田氏も現地の実情を知らないで感情だけで発言している。問題は沖縄の２新聞が反政府となっているのは現地の保守派を含めた多くの沖縄県民が政府不信になっている結果だ。」

クマさん「本土の人たちは冷たいんだと思っているんじゃないのかなあ。」

ご隠居「祖国復帰の運動では、＜本土並み＞を合言葉にした、つまり基地も民主主義（地方分権）も本土並みを期待したが、本土復帰が実現するとトタンに本土の人は沖縄基地のことは『シランフリーナ』という。しかし全国で大中小８４カ所の米軍基地がある。日米安保は８０％が容認する時代になって、反戦平和を戦ってきた者も沖縄基地の本土移転を言われると、基地反対を行ってきた立場から賛成するわけにはいかない、というわけで沖縄の人たちは絶望感を持ってしまったようだ。いまは辺野古移転反対のために支援に行く活動家に対しても＜反戦観光客＞と冷ややかに見る人もいる様だ。」

クマさん「なるほど、口だけの平和主義じゃあ、沖縄のことを自分の問題として考えられないっていうわけか。」

ご隠居「う～ん、クマさんもわかってきた様だね。２０年前の沖縄の人たちは、自分たちの嫌なものを本土で受けてくれとは言わなかったやさしさがあった。いまは支援なんかはいらないから基地を本土へ持ち帰ってくれという不信感がある。本土の基地反対運動をしてきた人間が、基地のある地元の人に沖縄からの移転は受けてくれ、なんてなかなか言えないからなあ。」

クマさん「そんな言い方ではご隠居さんも無責任ではないのかなあ。」

ご隠居「むむ、クマさんも痛いところを突いてくるんじゃあないか。これまで日本は憲法９条に象徴される平和と民主主義を守ることを重視してきた。しかし日米安保条約を廃棄して、現状の防衛力を持つには今の５兆円から２３兆円くらいになる。兵力も足りないから徴兵制にせざるを得なくなるという現実問題がある。だから憲法と安保のすれすれの

すり合わせの上でこれまで平和でやってこれた日本だが、私だってよもや今の中国のように従来の約束や国際ルールを無視してなりふり構わずの軍事進出をしてくるなんて思ってこなかったからなあ。」

クマさん「だけど、もし沖縄の人たちが独立すると言ったらどうなるんだろう。」
ご隠居「仮にそうなっても米軍は撤退しないだろうね。もっと以前であったらグアム島あたりへ移転しただろうが、中国の軍拡が露わになってアメリカも見過ごせない状況になった以上、日米で対抗しようという一線は変わらないだろうなあ。もっと言えば仮に米軍がいなくなれば極一部の琉球独立派が声明を発して、日本政府の弾圧を口実に中国がこれを支援し＜琉球人民救援志願軍＞を起こして、占領することは間違いない。ウルムチやチベットではそうだった。そして今や民族浄化路線を進めている。沖縄の独立を言う人たちはこういう実情をどう考えているんだろうね。おそらく沖縄でも抵抗する人間 50 万人くらいは殺されるだろうね。」

クマさん「難しいことはわからんが、人道を無視して侵略を正当化するような国の言いなりになって従属するわけにはいかね～なあ。」
ご隠居「そうだなあ、クマさんの言うとおりだよ。憲法９条があってもそうした侵略があれば自衛できることは憲法解釈でも容認されている。明治時代の憲法論議の折には暴虐な国家権力には人民の抵抗権を規定すべきだという議論もあった。だから今まで武力的脅威があまりなかった時代は固有の権利として理論的にはあっても集団自衛権までが容認されることはなかった。しかしホルムズ海峡とか、どこへでも行ってアメリカの戦争に巻き込まれることまでは容認できないだろうな。」

クマさん「そのために国連があるだろう。」
ご隠居「国連も米英対中露とのはざまで決められる事項が少ない。G7 という枠組みも相対的な力不足となり、現状維持が精いっぱいだ。人権問題の解決を図るべき国連人権委員会も人権問題で糾弾されている中国が牛耳っているんだから話にならない。その下のユネスコに至っては一部の NGO の意見を聞いて『琉球民族の固有の権利擁護』を勧告したりしているんだ。」

クマさん「なんだ、国連もたよりにならね～んだ。」
ご隠居「いまの国連は戦勝国とされている米英仏露中が常任理事国を握って都

合の悪いことは拒否権を使って国連を牛耳っているんだ。だからドイツや日本を常任理事国にせよ、国連を改革しろ、という意見も多い。」

クマさん「なんてこった。情けないんだなあ。」
ご隠居「まあ、そう悲観しなさんな。私は世界はいっぺんには良くならないが少しずつ良くなっていると思っているんだよ。昔に比べれば大戦争は減っているし、経済発展など環境が変わればなくなる方向だと思うよ。戦争は人間の欲望から生まれる。吾唯足知を世界中に広めなくてはならないがね。」

クマさん「ご隠居さんは楽天的でいいなあ。あっしらは中国とは一戦交えるんじゃあないかと思っているなあ。」
ご隠居「そうした危険性は私も認めるよ。しかし戦争はどちらにしても不幸をもたらすことは間違いない。いったん始まったら当事者の思惑を超えて拡大してしまう性格を持っている。どちらかが敗北するまでだ。」

クマさん「恐ろしい話だなあ。」
ご隠居「先の大戦でも沖縄は本土防衛のために犠牲となり、いかに米軍の本土進攻を抑制するかの使命を背負わされたんだ。」

クマさん「う～ん、それで沖縄決戦で２０万人も死んだというんじゃね～か。」
ご隠居「だから海軍司令官は自決する前に『沖縄県民　かく戦えり　後世特別の御高配を賜らんことを』と海軍省へ打電した。しかし牛島司令長官は沖縄県民を戦闘に巻き込んで自分が自決した後も徹底抗戦を命令しているんだ。敗北を認めて自決する以上部下にも停戦を命ずるべきだし、まして住民の安全を最優先して収めるべきだったと思うね。沖縄戦においては軍人と民間人１８万人が犠牲となっている。昔から日本は戦に住民を巻き込まず、例えば秀吉が高松城を水攻めにした時も城主の清水宗治の自決によって城兵を助けているし、太平洋地区での戦いでも日本の民間人や現住民を退避させている。」

クマさん「沖縄の人が政府に文句を言いたくなるのは当然だなあ。」
ご隠居「沖縄戦は本当に悲惨な戦闘だ。硫黄島など太平洋での日本軍の徹底抗戦は米軍の損傷も大きく、沖縄の場合も本土決戦の盾として米軍を足止めさせ、損耗させるためだった。沖縄の住民は徴用されたり戦闘に巻き込まれて悲惨だった。先日の TV で、９０歳過ぎまで生きた米軍兵

士があまりに残虐な戦闘のためは死ぬまでうなされていたということだ。戦後は米軍の支配下にあって１９７０年になってようやく復帰することになった。その間、ベトナム戦争時には連日基地からベトナムへ出撃しているし、核抜きは建前で実際は核兵器も持ち込まれていた。」

クマさん「沖縄人にすればもういい加減にしてくれ、って言いたいんだろうなあ。」

ご隠居「だからか尖閣列島についてはあまり報道がなく中国批判より政府批判のほうが強いようだったな。それほど緊張感は感じられなかった。中国人の観光客の数は多かったしね。それに昔何回か行った那覇市の活気と変貌には私もびっくりしたくらいだ。」

クマさん「もう一度ご隠居さんの考えを聞きたいんだが、実際のところどうなん
で。」

ご隠居「沖縄のやさしい心遣いや苦しみに対しては共感するが、現実の政治力学の場面で考えたいんだ。つまり翁長さんは那覇市長当時は那覇港米軍基地の移転のため隣接の浦添港を３００ヘクタール拡張していく計画を推し進めたんだ。辺野古はキャンプシュワブの東側の海へ滑走路を拡張移転する計画で１６０ヘクタールだ。翁長さんは美しい海を守るため基地の新設反対と言っているんだが、浦添は新設、辺野古は拡張なのに反対理由は逆だ。私も美しい海をどちらも守りたい。しかし浦添では余分な人工海浜づくりのリゾート施設も抱き合わせだ。この矛盾があるのでさすがの地元新聞もこれはあまり書き立てない。」

クマさん「なんだ、翁長知事と言う人はどっちに向いているんだろうなあ。」

ご隠居「市長時代は辺野古移転推進派だったし、反対すれば政府からたくさん資金を出させることができる、と発言していたようだな。」

クマさん「さっき、中国の手先みたいな話もあったけどどうなんで」

ご隠居「う～ん、翁長知事もアメリカへ行ったり中国へ行ったりしているけど自分を応援してくれそうな所へはどんどん行っている様だな。だけど中国も利用できそうなことはどんどん利用する。」

クマさん「政治家だから利用できるものは何でも、てわけか。だけど中国がちょっかい出すのはそんな小手先じゃあね～だろ？」

ご隠居「そうだ。基本的にはやはり第一には中国は第一列島線を確保して、太

平洋へ出るため本島と宮古島以南を分離させ自由に行き来できるようにし、台湾へのけん制、米軍艦隊への牽制を至上課題（核心利益）としているから日米安保は継続強化せざるを得ない状況にあることだな。第二には周辺環境からして危険な普天間基地の移転は県民にとっても最優先だろうな。そして今の段階で県外や国外も難しいことがわかってしまった以上、辺野古移転しか選択肢がない。論理も道理もない中国と対峙するには沖縄から米軍を追い出すわけにはいかないだろうなあ。」

クマさん「なんだ、ご隠居さんも政府と一緒かあ。」

ご隠居「イヤそうじゃあない。私は東シナ海の安全確保が第一と言っているんだよ。安倍内閣は選択肢がないのも事実だ。移転反対なら普天間基地は今のままでいいんですか、と政府も言うが米軍基地がなくなれば中国が占拠するよとは政府も言えない。普天間基地を御殿場に移転させようという運動を私らが言ったらどうなるかね。おそらく反戦民主主義擁護派も含めて多くの県民からボロクソに言われるんだろう。」

クマさん「うーん、難しいところだなあ。」

ご隠居「沖縄県民の痛みはわかるが、だが沖縄の今の反対闘争は＜移設反対＞をやめて＜新基地反対＞であって普天間をどうするのかは隠している。これもちょっといただけないなあ。美しいサンゴ礁を守る、というが辺野古だけでなく浦添港のすぐ西側に慶良間諸島があり、その間の海に北極海からクジラが子育てにくるんだ。３月に行ったのもホエールウォッチングだった。こっちの海だって守ってほしいよ。」
」

クマさん「結局、ご隠居さんも悩んでいるんだ。なんかいい案はないもんかなあ。」

ご隠居「それがあるんだ。県立大の小川知久先生の話だが、この人は政府の名代で米軍との折衝もやった軍事専門家だ。さっきの沖縄の人たちの負担を考えれば特別の対策を取る必要がある。つまり**経済的には沖縄県人の税負担軽減、医療、教育費の無料化、企業誘致のための優遇措置をやる。そして普天間基地は周辺が住宅密集地帯になって危険だから移転先が決まったら返還ではなく、移転先ができるまで直ちに使用を中止させる。そして普天間よりも１０倍広いキャンプハンセンにも滑走路を造らせ、そして緊急時には共用している那覇空港、辺野古の隣接のキャンプシュワブにも滑走路を拡張する。そして首相を初め政府**

幹部がこうした対策を先行させながら各市町を回って歩く、という案だ。」

クマさん「お～、そりゃあ面白い。そのくらいの策でなけりゃあ沖縄の人たちも納得しないだろうなあ。でもそう言ったって現実には対決しているし、政府案を押し付けるだけではますますこじれてしまうだろう。どうしてそんな案を政府は採用しないのかなあ。」

ご隠居「小川さんは自民党にも、鳩山政権になった時も補佐官として伝えているんだが、鳩山首相はあちこち迷走してしまったし、今の安倍首相は高姿勢で独走だからな。」

クマさん「国内で揉めていれば喜ぶのはやっぱり中国の習近平かあ。」

ご隠居「う～ん、そうだなあ。南沙諸島の埋め立てなど自国のものだという決めつけで既成事実を作って武力での変更には最近の米中交渉でもアメリカは押されてしまっている。アメリカも日本を頼りにしているし、どれだけ頼りになるのか不明だ。」

クマさん「じゃあ、中国の軍事力に対してはどうすればいいんだ。」

ご隠居「基本的には外交力を高めなくてはだめだ。韓国の外務省に振り回されて居る様じゃあ情けない。防衛力と言うならば私は前に言ったように日本の得意な技術である半導体レーザー砲の開発であらゆるミサイルや戦艦などを光の速さで機能破壊させる方法で専守防衛体制を作る案に賛成だ。そのほうが巨額の費用が掛かる戦艦や戦闘機よりはるかに安く、発射は１発あたり１００円で済むという話だ。世界中・ミサイルやハイテク兵器を無効にしてしまうような事態に成れば兵器産業は衰退するし、今よりもっと世界は戦争を仕掛ける者もいなくなる。」

クマさん「では中国を阻止するためには武力で対抗するってわけかあ。」

ご隠居「いや、地球上のすべての軍事脅威をなくしたいと云う事だ。中国は経済の高成長と膨大なミサイル保有による自信によって強気になってきたんだからそうではないことを事実で知らしめるしかない。瀕死の経済状況を共産党独裁権力で糊塗しているんだから、経済的破綻の事実を世界に明らかにしなくてはならない。日本の経済界などでは自己の利益保護のため中国経済を温存させようとする動きもある。そうした目先の利益主義を排し、一時的には世界不況をもたらすとしても危機に瀕している中国経済に資本投資を抑制し、物資の生産や購入をアセ

アン地域に振り替えるなどして追い詰めることが必要だ。中国流にいえば『水に落ちた犬を叩け』だ。そうすれば中国共産党独裁政権は崩壊する。そのあとはかなりの混乱があるだろうが軍事的脅威よりも耐えられる。中国の軍事脅威がなくなれば沖縄の基地は大幅に解消できるだろう。」

クマさん「うーん、なるほど。皮を切らせて肉を切る、てわけですかい。」
ご隠居「いや、肉を切らせて骨を断つという覚悟も必要かも知れない。だがオバマにそれだけの覚悟がないから、経済的制裁なんて言葉は出てこない。残念なことだ。ただし、軍事独裁国家になる恐れもあるが、そうなれば国際的な包囲、制裁で輸出入がマヒして共産党政権の崩壊は早まるだろうね。ソ連や東欧の崩壊もそうだった。」

クマさん「そうかあ、中国経済の崩壊は共産党の崩壊へ行くのか。」
ご隠居「うん、クマさんも覚えていてくれたんだね。いくら自分が世界一強いんだといっても自分の衰えを自分で阻止することはできない。中国はもはや人口高齢化に入りつつあり、人件費は高騰し、政府や銀行、企業も借金だらけだ。いまや世界一の借金王国だ。しかも独自の技術開発は弱く、公害や偽食品でガン患者は増大中、７億人が汚染された水を飲んでいるから毎年先天性障害児が１００万人生まれている。貧富の差が大きく消費拡大による内需もなく、内部の権力抗争も激しくなるばかり、富裕層は海外へ逃げることだけ考えているんだ。」

クマさん「でも中間層は爆買をやったり、結構資産を持っているんだろう。」
ご隠居「いま日本やその他の国で中国人の爆買が報道されているが、中間層の不安の表れだといわれている。そんな国が世界を制覇できるわけがない。そうした意味では私は楽観しているがね。おりしも不動産バブルのため株操作で国有企業や銀行の負債救済をやって結果は大暴落だから中間層は政府を見限るだろう。党内の抗争は激化し、分裂は深刻化してくるだろうね。ある工場で 1000 人の脱党があり話題になっている様だ。」

クマさん「うーん、なるほど。なんだかあっしも少しは気が楽になってきたな。
て、言うともう爆買はもうおしまいかな。」
ご隠居「去年までは中国大半の国民は共産党の宣伝もあり、GDP でもアメリカを抜くと信じている人が多かった。だけどこれから中国人観光客も減

っていくだろう。だからクマさんもあまりムキにならないで冷静に今後の成り行きを見てほしいね。なんならクマさんも奥さん同伴で沖縄へ行ってみないかね。美しい彼の地の風光明媚を堪能しながら現地の人たちの声を聴いてみるのもいいかもね。」

クマさん「まあ、女房のご機嫌直しのためにそんな話もしてみるかなあ。泡盛で一杯やるのも楽しみだなあ。ご隠居さん、今日はどうもありがとうさんで、これにてごめんそうらえだ～」

（平成２７年７月）

盧溝橋事件と私

１９３７年7月７日夜、中国の盧溝橋で睨み合っていた中国軍（蒋介石軍）と日本軍の双方に銃弾が撃ち込まれた。これが日中戦争のキッカケともなった。日中双方とも戦争不拡大を方針としており、日本は清朝が崩壊してラストエンペラーであった薄儀を助けて満州国を建国し、ソ連との抗争に備えていた。

しかし中国共産党は蒋介石軍に追われて衰退し、これを打開するために蒋介石軍と日本軍を戦わせようとするコミンテルンの方針に基づき抗日戦争を扇動していた。

１．中共軍に従事した元日本兵の証言

元日本兵で戦後中共軍将校であった葛西純一は、

「一九四九年（昭 24）十月一日の北京政権誕生直後、河南省洛陽市西宮に駐屯する中国人民解放軍第四野戦軍後勤軍械部（兵器弾薬部）第三保管処に現役将校（正連級、日本の大尉に相当）として勤務している時であった。

その頃、閉された中国大陸は『人民中国』の誕生にわきかえっていた。中国人民解放軍総政治部発行のポケット版『戦士政治課本』（兵士教育用の初級革命教科書）で、**『七・七事変（葛西注＝中国では盧溝橋事件を一般にそう呼ぶ）は劉少奇同志の指揮する抗日救国学生の一隊が決死的行動を以って党中央の指令を実行したもので、これによってわが党を滅亡させようと第六次反共戦を準備していた蒋介石南京反動政府は、世界有数の精強を誇る日本陸軍と戦わざるを**

得なくなった。その結果、滅亡したのは中国共産党ではなく蒋介石南京反動政府と日本帝国主義であった』としていた。「新資料盧溝橋事件」(74年　成祥出版社)

＊今から 40 年くらい前まで、中国共産党の幹部たちは、支那事変（盧溝橋事件と戦線拡大と継続）が共産党の仕業だったことをいろいろと証言していたというのである。しかしある歴史学者は葛西の証言を証明する現物が見当たらず信憑性に欠けるものとしている。

２．中国の首相であった周恩来の発言

「1949 年 10 月 1 日、「中華人民共和国」成立の日に周恩来首相が、「あの時（盧溝橋事件の際)、我々の軍隊が、日本軍・国民党軍双方に、発砲し、日中両軍の相互不信を煽って停戦協定を妨害し、共産党に今日の栄光をもたらしたのだ」と発言したと伝えられている。」

＊これもこのように発言したという当時の新聞等の記事もなく、信憑性に欠けるものとして、学術的には承認されていない。

３．劉少奇の「盧溝橋事件は中共軍の謀略だった」という発言

当時中国共産党の副主席であった劉少奇が、戦後（極東裁判の当時）になって
「盧溝橋事件の仕掛人は中国共産党で、現地の責任者はこの俺だ」と証拠を示して西側記者団に発表した。
この発表が契機となって、当時戦犯として巣鴨プリズンに拘置中の河辺大将、牟田口中将は理由も告げられず釈放された。
東京裁判で、盧溝橋事件を起こした罪を、日本軍に負わせるため現地の日本軍指揮官を処罰しようとしていたところへ、事件を起こした真犯人は中共軍だと発表され、あわてて右のような処置に出たのである。
劉少奇の発表を聞いた時、東京裁判の主席検事だったキーナンはあわてふためいて、顔面蒼白になったそうである。
＊ Wikipedia より

４．毛沢東の発言

日本社会党の委員長佐々木更三、黒田寿男、細迫兼光らを接見した際の談話

（１９６４年7月１０日）

佐々木――今日、毛主席の非常に寛大なお気持ちのお話しをうかがいました。過去において、日本軍国主義が中国を侵略し、みなさんに多大の損害をもたらしました。われわれはみな、非常に申し訳なく思っております。

主席――何も申し訳なく思うことはありません。日本軍国主義は中国に大きな利益をもたらし、中国人民に権力を奪取させてくれました。みなさんの皇軍なしには、われわれが権力を奪取することは不可能だったのです。この点で、私とみなさんは、意見を異にしており、われわれ両者の間には矛盾がありますね。（皆が笑い、会場がにぎやかになる）。
佐々木――ありがとうございます。
主席――過去のああいうことは話さないようにしましょう。過去のああいうことは、よい事であり、われわれの助けになったとも言えるのです。ごらんなさい。中国人民は権力を奪取しました。同時に、みなさんの独占資本と軍国主義はわれわれをも〔日本側の記録では、「みなさんをも」となっており、文脈からはその方が適切と思われる〕助けたのです。日本人民が、何百万も、何千万も目覚めたではありませんか。中国で戦った一部の将軍をも含めて、彼らは今では、われわれの友人に変わっています。
（東京大学近代中国史研究会訳『毛沢東思想万歳』、下巻

＊　この記録は公認された記録である。中国共産党が日本軍を挑発して蒋介石軍と戦わせて漁夫の利を得て政権を奪取したことは事実である。盧溝橋事件がこうした戦略が背景にあったことは事実である。

５．毛沢東亡き後の実力者鄧小平の証言

「日本側（訪中団）が『先の戦争では申し訳なかった』といった内容のことを述べると、鄧小平は発言をさえぎるようにして『われわれは日本軍をそんなに悪く思っていませんよ』と切り出した。あっけにとられた一行を前にした鄧小平の説明はこうだった。
「あの戦争が始まる前、われわれは井崗山(せいこうざん)から、長征の途についた。延安にたどりついたときは気息奄々、靴もちびはて、人数も 2 万人に減って、全滅寸前でした。ところが日中戦争が始まり、われわれを包囲していた蒋介石軍は日本軍によって次第に南部に押されていく。袋のネズミだったわれわれはそれで息を付くことになり、日本軍の後ろに回って、着々と工作をして

いった。そして戦争終結時には数百万の正規軍を擁する軍事勢力にのし上がった」

６．私の見解

私の父親は昭和１２年に召集され、静岡３４連隊へ入隊、そして中国へ派遣されている。無事帰還しているから昭和１５年の夏に私が誕生している。

子どもの頃、当時の写真アルバムをよく見たものである。そのなかには戦闘を思わせるものはあまりなかったが、捕虜が鉄条網のなかにいる写真を見た覚えがある。しかし「南京虐殺」などという話はなかった。話したくなかったという感じではなかった。のち父親は当時の想い出をノートにぎっしり書き連ねていたが、いつか読んでみたいと思っているうちに成人となり、居も移りその願いはかなわなくなってしまった。誠に残念なことであった。はや５０年である。

・　　・　　・

現在の中国共産党は、政権も第５世代となりその正当性が問われている。選挙で選ばれているわけではない。つまり抗日戦争で国民を解放したからだ、という。

さらに中国独自の社会主義で人民の生活を安定させている、と云う事がその正当性だという。

冗談ではない。確かに日本軍は中国と戦争を行ったが、それは南京政府の蒋介石軍であった。共産党軍はその傘下に入ったが後方ゲリラで日本軍の敗退後、国共内戦で共産党軍が勝って、蒋介石軍は台湾に逃げ込んで今に至っている。

したがって、現在の中国共産党は第３世代の江沢民の時から自らの正当性を主張するため、あること、ないことをでっち上げて日本軍部の悪行を宣伝している。

中国への侵出は当時の軍部の中にも積極派と消極派があったと聞く。いずれにせよ戦闘が行われ、双方に多くの死傷者が出たことは事実である。

戦後、中国を代表して蒋介石は「恨みに報いるに　恨みを持ってせず」と言って賠償要求は放棄し、日本はこれにこたえて多額の ODA をはじめとした投資やら援助を行い中国の今日の発展のために多大な協力をいとわなかった。

上記毛沢東の話は国交回復以前であり、田中角栄の日中国交回復後にも鄧小平は友好を述べているのである。

しかるに現在の中国は、尖閣列島に手をだし、事実上の軍艦、偵察機を連日のように繰り出し、我が国の領海を侵犯しているばかりか、南沙諸島ではベトナム、フィリピン領有の島を武力で占拠するに至っている。

思えば５０年前のころは、毛沢東、周恩来の度量の広さに感銘もあった。最近の中国共産党のあまりの横暴にさまざまな本を読み、資料に目を通しているうちに、問題は共産党や毛沢東の方針そのものに問題があることが鮮明になってきた。

・政権樹立後、地主階級打破と称して２６０万人の人を殺し、４００万人が資産を略奪された。
・「百花争鳴」と称して中国共産党を批判させ、そのうえで批判的知識人たち５５万人が弾圧され、うち３０万人の人々が殺されたと推定されている。
・「大躍進政策」と称して、農村部で無謀な工業化を進め、５千万人（党内農業関連機関の幹部が発表）の人々を餓死させた。
・民主化を要求した１００万人の学生、市民を天安門前広場で戦車でひき殺し、無差別銃撃で多数を殺した。その数は今も秘匿されている。
・文化大革命の騒乱で何十万人もが殺され、全国の寺院など文化財が破壊された。
・新疆ウイグル、チベット、内モンゴルを侵略し、民族浄化を進めている。
・法輪功（気功）の会員（愛好者７０００万人）を弾圧し、とらえた者の生体臓器を取り出し販売した。
・改革開放経済となってから８０００万人の中国共産党員は年収１０００万円の末端公務員から数千億円の富裕層となって居り、農民から土地を取り上げゴーストタウンをつくり利権を懐にし、公害は垂れ流し放題でガン村が多くなっている。
・社会主義を標榜しながら医療や年金制度もほとんどなきに等しい。この７月から人権擁護の弁護士グループを国家騒乱罪で弾圧を始めた。まさに赤色ファッシズムである。

◎　「世界の下請け工場」は輸出停滞と賃金アップで倒産続出、不動産バブル崩壊、株式操作で銀行や公営企業の借金を整理させようとしたが株の大暴落でその夢も立ち消えた。今後は民主改革を進めるか、軍事独裁を取るか二つに一つであろう。

◎　ヒトラーのナチスの残虐行為よりすさまじい。しかし欧米諸国は経済大国として為すがままである。このような中国共産党は崩壊すべきであるし、やがて崩壊するであろうことはソ連や東欧の歴史が証明している。

中国の言葉に「明けない夜はない。夜明け前こそ最も暗い。」とあった。

（平成２７年７月７日七夕の日に）

七無斎　　佐塚　充